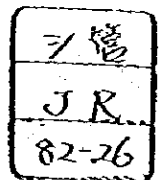


調査団派遣情報システム業務処理要領

昭和 57 年 2 月

国 際 協 力 事 業 団
総 務 部 システム管理課



国際協力事業団	
交付日 '84. 5. 21	000
登録番号 06081	648 GAS

マイクロ
フィルム作成

目 次

I システムの概要	1
1. 開発の趣旨及び処理の範囲	1
2. 入力帳票	2
(1) 入力帳票の種類	2
(2) 入力項目	3
3. 出力帳票	4
(1) 出力帳票の種類	4
(2) 出力帳票利用上の留意点	10
(3) データ確認リストの見方	12
4. システムの構成	18
II 入力帳票の作成	19
1. 一般的な注意事項	19
2. 使用できる文字・記号の種類	19
3. 入力項目の字数制限	24
4. プロジェクト番号・調査団番号の決定	25
5. プロジェクト名の決定	27

JICA LIBRARY



1051637(5)

6. プロジェクト概要の記載内容	29
7. 関連プロジェクト番号	30
8. 入力帳票の流れ	31
 Ⅲ 入力帳票の記入要領	33
1. プロジェクト登録データ・シート	33
2. 調査団派遣計画表	36
3. コンサルタント契約報告書	40
4. 帰国届	41
 Ⅳ 入力情報の修正	42
1. プロジェクト登録	42
(1) プロジェクト番号	42
(2) 国名・分野別分類	42
(3) プロジェクト名	43
(4) プロジェクト概要	43
2. 調査団派遣計画表	44
(1) 調査団番号	44
(2) 氏名・担当業務・現職	46

(3) 出発日・帰国日・期間	46
(4) 身分・号・費用出所・労災	46
(5) 団員の追加	46
(6) 団員の削除	46
3. コンサルタント契約報告書	47
4. 帰国届	47

Y ブロックフロー	
1. 振分けサブ・システム	48
2. プロジェクト登録サブ・システム	48
3. コンサル契約登録サブ・システム	49
4. 派遣計画登録サブ・システム	50
5. 出発・帰国日更新サブ・システム	51
6. プロジェクト管理サブ・システム	52
7. コンサルタント管理サブ・システム	53
8. 調査団実績管理サブ・システム	54
9. 調査団統計管理サブ・システム	55
	56

W プログラム機能概要	57
-------------------	----

1. トランザクション振分けプログラム	57
2. プロジェクト登録トランズ・チェック・プログラム	58
3. プロジェクト登録マスタ作成プログラム	59
4. コンサルタント契約トランズ・チェック・プログラム	60
5. コンサルタント契約マスタ作成プログラム	61
6. 派遣計画トランズ・チェック・プログラム	62
7. 派遣計画関連マスタ作成プログラム	63
8. 出発・帰国トランズ・チェック・プログラム	64
9. 出発・帰国日更新プログラム	65
10. 調査団総合情報ファイル作成プログラム	66
11. プロジェクト登録リスト出力プログラム	67
12. コンサルタント実績リスト出力プログラム	68
13. プロジェクト別派遣実績リスト出力プログラム	69
14. 調査団派遣実績リスト出力プログラム	70
15. 団員情報ファイル作成プログラム	71
16. 団員リスト出力プログラム	72
17. 月別派遣実績表出力プログラム	73
18. 業種別派遣実績表出力プログラム	74
19. テーブル索引サブ・プログラム	75

20. マスタ・ファイル・イニシャライズ・プログラム	76
Ⅵ ファイル・フォーマット	77
1. プロジェクト登録マスタ・ファイル	77
2. コンサルタント・契約マスタ・ファイル	78
3. 調査団マスタ・ファイル	79
4. 団員マスタ・ファイル	80
5. 調査団総合情報ファイル	81
6. 団員情報ファイル	82
Ⅶ コード	83
1. 担当部課コード	83
2. 国コード	84
3. 分野別分類コード	85
4. 契約内容の登録区分コード	86
5. 身分（出身区分）コード	88
6. 号（団員の格付）コード	88
7. 費用出所コード	88
8. 調査種類コード	88

I システムの概要

1. 開発の趣旨及び処理の範囲

現在事業団では、開発途土地域等に多数の調査団を派遣し、技術協力をはじめ各種の事業を実施している。こうした調査団として海外に派遣される専門家は、年間4千名に達している。

このシステムは、そうした調査団に関する情報を電算機に入力し、事業の推進及び事業実績の把握に必要な各種の資料・統計を作成するものである。

このシステムの対象となる調査団は、技術協力事業のうち、開発調査、プロジェクト方式技術協力及び開発協力を係るもので、これらの業務は、企画部等10部で実施され、予算科目は2款9項に及んでいる。なお、前記以外の研修員受入、機材供与等の業務に関連して派遣される調査団については、当面このシステムでは処理しないものとする。

関連業務の実施担当部及び予算科目の関係は、表1-1のとおりである。

表1-1

プロジェクト の 種 類	予算科目「項」	企画部	調査部	社会開発 協力部	医 療 協力部	農林水産 計画調査部	農業開発 協力部	林業水産 開発協力部	鉱工業 計画調査部	鉱工業 開発協力部	無償資金 協力部
開 発 調 査	開 発 調 査 費	○	○	○		○		○			○
	海外開発計画調査費								○		
	資源開発基礎調査費								○		

プロジェクト の 種 類	予算科目「項」	企画部	調達部	社会開発 協力部	医 療 協力部	農林水産 計画調査部	農業開発 協力部	林業水産 開発協力部	鉱工業 計画調査部	鉱工業 開発協力部	無償資金 協力部
プロジェクト方式 技 術 協 力	技術協力センター費			○				○		○	
	保健医療協力費				○						
	人口家族計画協力費				○						
	農 林 業 協 力 費					○	○	○			
	産業開発協力費					○	○			○	
開 発 協 力	開 発 協 力 費			○		○	○	○	○	○	

2. 入 力 帳 票

(1) 入力帳票の種類

このシステムで使用する入力帳票は、表1-2のとおりである。

表1-2

番号	帳 票 名	主な記入者	作 成 時 期	用 紙	備 考
1	プロジェクト登録データ・シート	担 当 者	プロジェクト発足時	所 定 2P	プロジェクト終了時にも再度作成 契約精算時にも作成
2	コンサルタント契約報告書	コンサルタント	契約締結時	・	
3	調査係系通計表	担 当 者	調査係系通時	・	
4	帰 国 届 (教員用)	調 査 団 員	帰 国 時	・	
5	・ (一般用)	・	・	・	
6	調査係系通計表修正データ・シート	担 当 者	必 要 時	・	

(2) 入力項目

このシステムで扱う情報の種類は、表1-3のとおりである。

表1-3

番号	項 目	項 目 の 概 要	入 力 根 拠	備 考
1	プロジェクト番号	各プロジェクトに付番された個々の番号(7桁)	プロジェクト登録データ・シート	
2	プロジェクト名	正式名称、略称及び英文名称	・	
3	プロジェクト概要	プロジェクトの概略説明	・	
4	地 域	プロジェクトの所在する地域名「アジア」、「中近東」	・	コード入力
5	国 名	プロジェクトの所在する国名	・	・
6	分野別分類	プロジェクトの分野による分類	・	・
7	関連プロジェクト	当該プロジェクトに関連する別のプロジェクト	・	プロジェクト番号で入力
8	担当総員		・	コード入力
9	団員の氏名	調査団員の漢字及びカタカナによる氏名	調査団派遣計画表	
10	・ 担当業務	調査団員の担当する業務の内容	・	
11	・ 現職	調査団員の所属する団体名、部署名、地位等	・	
12	・ 出発日	調査団員の本邦出発日又は調査団へ参加した日	・	
13	・ 帰国日	調査団員の本邦帰国日又は調査団を離れた日	・	
14	・ 現地派遣期間	調査団員としての在外期間	・	
15	・ 身分	所属先別による分類「国家公務員」、「民間」等	・	コード入力
16	・ 号	調査団員の格付	・	・
17	・ 費用出所	費用の出所「事業団予算」、「外務省予算」等	・	・
18	・ 労災	「労働者災害保険」加入の有無	・	

番号	項 目	項 目 の 概 要	入 力 帳 票	備 考
19	予算区分	事業団予算の「項」及び当年度・繰越の別	調査団派遣計画表	プロジェクト番号より判別
20	調査の種類	調査の段階別区分	・	コード入力
21	関係省庁名	直営調査団の場合の派遣に係る主な協力省庁名	・	
22	契約区分	「業務実施契約」か「役務提供契約」かの別	コンサルタント契約報告書	
23	契約方式	「一般プロポーザル方式」等の区分	・	コード入力
24	契約金額	コンサルタント契約の金額(千円単位)	・	
25	技 術 費	上記契約金額のうちの技術費の金額	・	
26	契約履行期間	当該契約の履行の開始日及び終了日	・	
27	コンサルタント会社名	契約相手方のコンサルタント会社名	・	コード入力
28	現地作業人月	現地に派遣され作業を行う団員の延人月数	・	
29	国内 ・ ・	国内作業の延人月数	・	
30	従事者数	当該調査に従事したコンサルタント会社の人数	・	
31	契約内容の登録区分	契約内容の分野(道路・農業等)による区分	・	コード入力
32	当該案件指名 コンサルタント名	当該調査に係る入札等に指名されたコンサルタント会社名	・	
33	応募・辞退の区分	指名を受けたコンサルタント会社の対応	・	
34	国内作業従事者の氏名	コンサルタント会社の当該調査に国内のみで従事する技術者の氏名	・	
35	・ 担当業務	同技術者の担当業務	・	
36	・ 現 職	同技術者の所属する団体名、部署名、地位等	・	
37	・ 期 間	作業日数	・	

3. 出 力 帳 票

(i) 出力帳票の種類

入力項目は原則として適宜組合せの上帳票として出力できるが、当初は出力用プログラムの準備上、表1-4の19帳票を作成する。これらの出力帳票以外の資料を必要とする場合は、別途検討の上プログラムを開発することとする。

表1-4

番号	出力帳票名	内 容	出力頻度
1	プロジェクト登録リスト(プロジェクト種類別)	プロジェクトの概要、分野、予算科目等を国別に出力する。	四 半 期
2	・ (予算科目別)	・	・
3	・ (担当部別)	・	・
4	コンサルタント契約実績表(単独)	コンサルタント会社毎に、実施したプロジェクト、調査の種類等を出力する。	・
5	・ (共同企業体)	・	・
6	調査団派遣実績表	前月に派遣した調査団の調査の種類、団長名等を国別に出力する。	毎 月
7	プロジェクト別調査団派遣実績表(プロジェクト種類別)	調査団の団員数、派遣期間、調査の種類等を出力する。	四 半 期
8	・ (予算科目別)	・	・
9	・ (担当部別)	・	・
10	調査団員リスト(プロジェクト種類別)	調査団員の氏名、担当業務、現職等を出力する。	・
11	・ (予算科目別)	・	・
12	・ (担当部別)	・	・
13	月別調査団派遣実績統計	毎月の調査団派遣人数を国別、プロジェクト別に出力する。	毎 月
14	分野別 ・ ・	調査団派遣人数を国別、分野別に出力する。	・
15	振分け不能エラーリスト	入力帳票の帳票番号のパンチミス分を出力する。	随 時
16	プロジェクト登録データ確認シート	プロジェクト登録データ・シートの入力結果を出力する。	・
17	コンサルタント契約報告データ確認リスト	コンサルタント契約報告書の入力結果を出力する。	・

番号	出力帳票名	内 容	出力頻度
18	調査団派遣計画表データ確認リスト	調査団派遣計画表の入力結果を出力する	随 時
19	帰国留データ確認リスト	帰 国 留 の “ ”	“ ”

プロジェクタの接続：設置計画方式

地盤 強 度

作成年月日：昭和 54 年 1 月 3 日

21 X

- 7 -

プロジェクト別調査団派遣実績リスト (部 別)

作成年月日:昭和 54 年 1 月 1 日

3 頁

プロジェクトの範囲:復興調査方式
別:社会復興局別

昭和 54 年度

(地区別)	プロジェクト名	実施番号	契約区分	コンサルタント名 (及びコンサルタント)	実施団体の (名称)	実施団体の (所在地)	調査の 目的	調査団 (人数)	調査期間			調査区分	調査項目	調査結果
									開始日	終了日	日数			
(アジア地区)	インドネシア	スラバヤ都市圏・東部開発計画					都市計画	4 (2.0)	54.12.4	54.12.20	15	都市	調査調査	
"	"	ジャカルタ都市圏開発計画					都市計画	4 (1.0)	54.12.4	54.12.13	8	都市	"	
"	"	東部インドネシア開発調査計画					都市計画	4 (3.2)	54.12.4	54.12.14	11	都市	"	
"	"	バリ島開発調査計画					都市計画	7 (2.0)	54.12.4	54.1.11	45	都市	"	
"	"	スラバヤ都市圏開発計画					都市計画	9 (15.0)	54.11.30	54.1.31	25	都市	"	
"	"	スラバヤ都市圏開発計画					都市計画	4 (2.0)	54.1.11	54.1.21	12	都市	"	
"	"	スラバヤ都市圏開発計画					都市計画	4 (1.0)	54.3.11	54.3.23	13	都市	"	
"	"	バタン・タンタラニ開発計画					都市計画	4 (1.0)	54.12.4	54.12.11	8	都市	"	
"	"	バタン・タンタラニ開発計画					都市計画	4 (1.3)	54.1.1	54.1.11	10	都市	"	
"	"	バタン・タンタラニ開発計画					都市計画	2 (0.7)	54.1.11	54.1.17	10	都市	"	
"	"	バタン・タンタラニ開発計画					都市計画	4 (0.3)	54.1.23	54.1.23	13	都市	"	
"	"	インドネシア都市圏開発計画					都市計画	4 (2.0)	54.11.30	54.12.10	11	都市	"	
"	"	インドネシア都市圏開発計画					都市計画	3 (1.0)	54.1.11	54.1.20	10	都市	"	
"	"	インドネシア都市圏開発計画					都市計画	15 (10.0)	54.1.22	54.1.20	44	都市	"	
"	"	ジャカルタ都市圏開発計画					都市計画	4 (2.0)	54.11.4	54.11.20	15	都市	"	

調査員リスト (国別)

作成年月日: 昭和37年 1月 4日

127頁

プロジェクトの属性: 調査調査方式

昭和 36 年度

国名	プロジェクト名	調査の 目的	担当業務	氏名	職 位	号	所属	0	調査 期間	予算科目 (費用区分)	担当者		
モリダル	モリダル国手産物販売促進調査 手産物調査	現地手産物調査	総 括	長崎 周二	産業庁振興部手産物課調査員	2			56.6.7	56.6.14	8	調査調査	担当
			調査調査	奥田 正敏	佐賀県庁事業課企画課長	4			56.6.7	56.6.14	8		
			調査調査	奥田 正敏	佐賀県庁総合研究所調査研究部 研究員	3			56.6.7	56.6.14	8		
			調査調査	中島 邦夫	佐賀県庁総合研究所社会システム課 文化研究員	2			56.6.7	56.6.14	103		
			調査調査	北川 健一郎	佐賀県庁総合研究所センター企画 部	2			56.6.7	56.6.14	30		
			調査調査	木村 英太	オーパレーション・アプロフィッシ ョリーズ・コンサルティング部部長	3			56.6.7	56.6.14	92		
セイシェル	セイシェル国手産物販売促進調査 手産物調査	現地手産物調査	総 括	中島 邦夫	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	4	0	0	56.2.17	56.2.27	11	調査調査	企画
			調査調査	佐藤 哲男	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	0	0	0	56.2.17	56.2.27	11		
			調査調査	佐藤 哲男	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	0			56.2.17	56.2.27	11		
スワジランド	スワジランド国手産物販売促進調査 手産物調査	現地手産物調査	総 括	佐藤 哲男	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	1			56.2.18	56.2.28	15	調査調査	担当
			調査調査	佐藤 哲男	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	3			56.2.18	56.2.28	30		
			調査調査	佐藤 哲男	佐賀県庁総合研究所調査研究部研究員	1			56.2.18	56.2.28	323		

(注1)は調査内容と異なることを示す

0は調査期間の始まらないことを示す
0は1月調査を示す

(2) 出力帳票利用上の留意点

出力帳票を利用する場合には、次の事項を留意すること。

① 入力できなかった文字・記号（印字できないもの、または、判読できなかったもの）は、ゲタ・マーク「二」で表示される。

② 一部の出力項目は、正式名称ではなく、短縮された名称で表示される。例は、次のとおり。

<担当部>

正 式 名 称	短縮名称	正 式 名 称	短縮名称
企 画 部	企 画	農業開発協力部	農 開
調 達 部	調 達	林業水産開発協力部	林 開
社会開発協力部	社 会	鉱工業計画調査部	鉱 計
医療協力部	医 療	鉱工業開発協力部	鉱 開
農林水産計画調査部	農 計	無償資金協力部	無 償

<予算科目「項」名称>

正 式 名 称	短縮名称	正 式 名 称	短縮名称
開発調査費	開発調査	産業開発協力費	産業開発
技術協力センター費	センター	人口家族計画協力費	人口家族
保健医療協力費	保健医療	海外開発計画調査費	海外開発
農林業協力費	農 林 業	資源開発基礎調査費	資源開発
開発協力費	開発協力		

<身 分>

正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称
国 家 公 務 員	国 公	民 間	民 間	JICA 役 職 員	職 員
地 方 公 務 員	地 公	自 営	自 営	無	無
特殊法人(JICAを除く)	特 法	JICA 特別嘱託	特 嘱		

<費用出所>

正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称
事 業 団 予 算	(空 欄)	農 林 水 産 省 予 算	農 水 省	そ の 他 省 庁 予 算	他 省 庁
外 務 省 (本 省) 予 算	外 務 省	通 産 省 (本 省) 予 算	通 産 省	そ の 他	そ の 他

<調査の種類>

正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称	正 式 名 称	短 縮 名 称
研究・基礎調査団	研究基礎	研究・基礎調査団	研究基礎	基礎一次調査団	基礎一次
選定・確認調査団	選定確認	選定・確認調査団	選定確認	基礎二次調査団	基礎二次
事前調査団	事前	事前調査団	事前	開発計画調査団	開発計画
現地調査団	現地本格	実施協議調査団	実施協議	計画打合せ調査団	計画打合
現地調査監理	作業監理	巡回指導	巡回指導	作業監理	作業監理
報告書説明調査団	報告説明	計画打合せ	計画打合	関連施設整備調査団	関連施設
アフターケア調査団	アフターケア	効果測定調査団	効果測定	投融資審査等調査団	投 融 資
		機材管理指導	機材管理		
		アフターケア	アフターケア		

③ 文字の大きさは、原則として9ポイントを使用し、必要に応じて7ポイント及び14ポイントを使用する。

(3) データ確認リストの見方

入力した帳票については、入力結果を表す“データ確認リスト”が出力される。電子計算機内においては、特定の入力項目について誤りがあるか否かをチェックしており、誤りがあった場合は、その箇所が“データ確認リスト”に表示される。但し、誤字、脱字や誤って別のコード番号を記入した場合等については、チェックできない。

誤りがあった場合は、各担当課において修正用のデータを作成する必要がある。修正の方法についてはN「入力情報の修正」(42ページ)を参照のこと。

各データ確認リストの見方は、次のとおり。

① プロジェクト登録データ確認リスト

プロジェクト登録データ・シートで入力した結果が、次ページのような様式で出力される。

処理区分、国名、分野別分類、プロジェクトの種類、担当部課コード又は記入年月日が記入漏れであったり、存在しないコードや年月日が記入されていた場合には、その箇所に“アスタリスク”が印字される。また、入力済のプロジェクト番号で再度新規入力した場合には、備考欄に“すでに該当データは存在する”と表示される。いずれの場合もプロジェクト登録リストに出力されない。

解題の要： 素因数分解

- 13 -

コンサルタント契約データ確認リスト

作成日:平成25年4月2日
 作成者:国際協力機構

16 ページ
 プロジェクト名:イラン電力会社

国名	プロジェクト名	契約番号	契約方式	契約期間	契約金額	契約締結日	契約有効期限	契約コード
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000

国名	プロジェクト名	契約番号	契約方式	契約期間	契約金額	契約締結日	契約有効期限	契約コード	備考
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社

国名	プロジェクト名	契約番号	契約方式	契約期間	契約金額	契約締結日	契約有効期限	契約コード	備考
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社
イラン	イラン電力会社	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	00000000000000000000	イラン電力会社

③ 調査団派遣計画表データ確認リスト

調査団派遣計画表で入力した結果は、16 ページのような様式で出力される。なお、本リストの見方は以下のとおり。

① 当該調査に係るプロジェクト登録が未完了の場合は、国名及びプロジェクト名が出力されない。

- ① 担当部課コードが記入漏れ又は誤記入の場合は、担当部課名及び担当部課コード欄が出力されない。
- ② 予算年度と団員の出発日が一致しない場合は、出発日の下にアスタリスクが打たれる。
- ③ 調査の種類、事項が未記入又は誤記入の場合は、当該欄にアスタリスクが打たれる。
- ④ 身分コード、号、費用出所についても、上と同様。
- ⑤ 出発日・帰国日・期間のいずれかに誤りがある場合は、それらの下にアスタリスクが打たれる。
- ⑥ 備考欄には、「新規登録」、「変更」、「削除」、「すでに該当データは存在する」、「*印の箇所にエラーがある」のいずれかが印字される。「新規登録」は、データに誤りがなく、正常データとして扱われたものである。「変更」は既入力済データを変更した旨の表示で、「削除」は既入力済データの削除を表す。「すでに該当データは存在する」は、既に同じ調査団番号で調査団派遣計画表が入力されており、これは二重入力か調査団番号の誤りを意味する。なお、調査団番号の誤りの場合、調査団員数が既入力済分より多い場合は、その多い分の団員は既入力済の調査団の団員として扱われ、団員の備考欄に「新規登録」と表示され、既入力済調査団の団員として扱われる。「*印の箇所にエラーがある」はエラーの存在を示す。
- ⑦ エラーマークの欄には、エラーがある場合又は二重入力の場合にアスタリスクが打たれる。

⑥ 二重入力の場合は、出発日・帰国日の下にアスタリスクが打たれる。

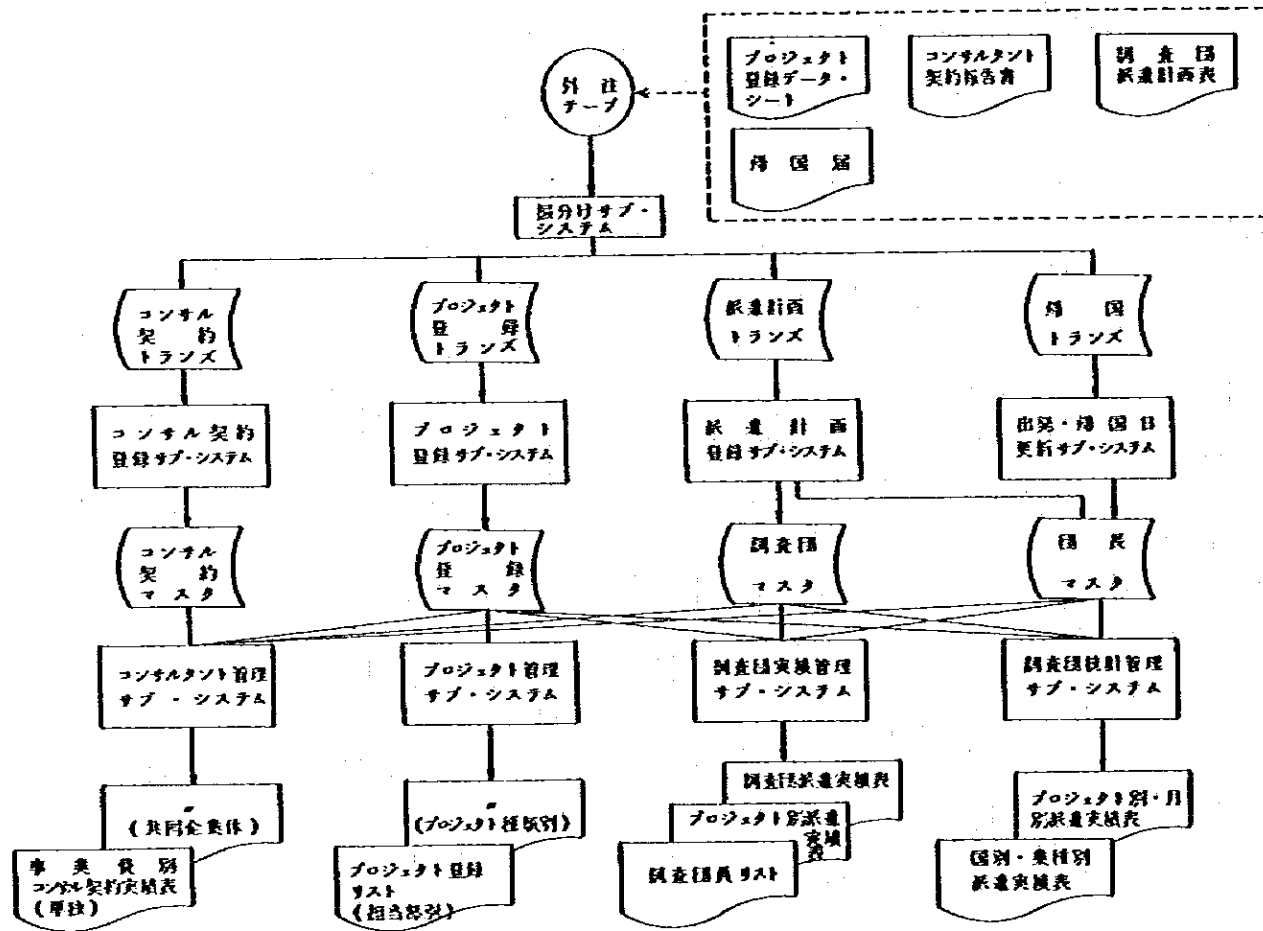
ト ス リ 器 確 起 回 帰

Printed by : S P K I B

IM

【关键词】 网络；网络广告；网络广告效果；网络广告效果评估

[illegible]



Ⅱ 入力帳票の作成

1. 一般的な注意事項

- ① 文字は、楷書で正確に記入すること。(誤字・あて字は、そのまま入力され、出力される。)

特に、(1, 7, 9), (ア, マ,), (コ, エ, ユ), (シ, ツ, ミ), (レ, ソ, ツ)等の区別を明瞭にすること。

- ② 1桁に1文字または1記号(表2-3に掲げるものを除く)を記入し、2以上を記入しないこと。

- ③ 年月日, 期間等の記入で, 使用しない位の欄には"0"を記入すること。

(記入例)

(正)

出発日				
5	6	0	9	3

(誤)

出発日				
5	6		9	3

(誤)

出発日				
5	6		9	3

(誤)

出発日				
5	6	9		3

- ④ 記入する内容が上の行や左の欄と同一であっても, 「・」や「同上」等を使用せず, 同じ内容を記入すること。

- ⑤ 筆記具は, 黒の鉛筆(HBかB)またはボールペンを使用すること。

2. 使用できる文字・記号の種類

漢字プリンタで印字できる文字・記号の種類は, 次表(表2-1)のとおりである。従って入力帳票に記入できる文字・記号の種類も同じである。

なお, 特定の漢字(特に人名や中国の地名)が印字可能か否か不確な場合は, 漢字一覧表(システム管理に

て保有)を参照するか予めフリガナ等を付記しておくこと。当該漢字が無くフリガナが付記されていれば、フリガナが入力され、フリガナの無い場合は、当該部分に「二」が表示される。

表 2 - 1

種 類	内 容	備 考
漢 字	JIS第1水準漢字 2,965字 JIS第2水準漢字 3,384字 計 6,357字 特注の漢字 8字	当用漢字・人名用漢字を含む 〈情・楮・修・碩・臥・務・暹・籍〉の8字
ひらがな	濁音・半濁音及び音便・撥音用の小型文字を含む83字	小型〈あ, い, う, え, お, わ〉及び〈ち, ゐ, ゑ〉を含む
カタカナ	同上に, 〈ヴ, 小型のカ・ケ〉を加えた86字	同上のカタカナを含む
ローマ字	大文字及び小文字 52字	
ギリシア文字	・ ・ 48字	
ロシア文字	・ ・ 66字	
アラビア数字	0～9の10字	ローマ数字(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ等)は不可
記 号	132種	下表 表2-2のとおり
文 字 記 号	99種	下表 表2-3のとおり

表2-2 記号

\	°	′	″	:	;	?		°	/	\	..	^	—	—	\	∞	//	○	—	—	—	/	\	~			...	...	′	′	″	″
()	[]	{ }	< >	< >	「 」	『 』	【 】	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	δ	♀	′	″	″	″	″	″	″	″	″	″
∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	

表2-3 文字記号

△	▽	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

3. 入力項目の字数制限

このシステムにおける入力項目の文字数は表2-4のように制限される。このため、制限文字数を超える場合は、制限字数内に納まるより、文字情報を短縮する必要がある。

表2-4

入 力 項 目		入 力 帳 票	最大字数	備 考
プロジェクト名	略 称	プロジェクト登録データ・シート	20	カタカナ
	正式名称	・	28	
	英文名称	・	75	ローマ字
プロジェクト概要		・	72	
氏 名	姓	調査団派遣計画表 コンサル契約報告書 帰 国 届	4	
	名		4	
担 当 業 務		調査団派遣計画表	10	
現 職		コンサル契約報告書	30	
協 力 機 関 名		調査団派遣計画表	10	

なお、現職等の短縮例は次のとおり。

	実 例	短 縮 例
担当業務	カリキュラム編成・設備 ¹⁹ 及び機械計画	カリキュラム・設備
	森林資源（樹種分類並びに材種調査）	森林資源（樹種分類）
現 職	厚生省社会局国立身体障害者リハ ¹³ ビリテーションセンター整備室総務係長	厚生省社会局身障者リハビリセ ンター整備室総務係長
	通商産業省工業技術院名古屋工業 技術試験所国際研究協力室主任研究官	通産省名工試国際研究協力室 主任研究官
氏 名	Fang Cheng Lian	F. C. Lian

4. プロジェクト番号・調査団番号等の決定

- ① プロジェクト番号・調査団番号等は、各部主管課において決定し管理する。
- ② 番号の意味及び関係は、次のとおり。

A 開発調査費によるプロジェクトの場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
プロジェクト番号	0	3	5	6	0	1	4					
家族計画番号	0	3	5	6	0	1	4	0	1			

B 左記以外の場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	0	4	7	9	1	0	7					

調査団番号

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
0	3	5	6	0	1	4	0	1	2		
0	3	5	6	0	1	4	0	1	2	0	4

団員番号

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
0	4	7	9	1	0	7	5	6	1		
0	4	7	9	1	0	7	5	6	1	0	1

③ 1～2桁

予算科目の項コード

コード	項	コード	項	コード	項	コード	項	コード	項
03	開発調査費	06	保健・医療協力費	10	開発協力費	14	人口・家族計画協力費	33	資源開発基礎調査費
04	技術協力センター費	07	農林業協力費	11	産業開発協力費	32	海外開発計画調査費		

④ 3～4桁目

当該プロジェクトの開始年度

ただし、開発調査及び開発協力に係るものは、「和暦」

プロジェクト方式技術協力に係るものは、「西暦」の下2桁

⑤ 5桁目

複数の部で同一の予算科目により事業を実施する場合の、担当部の識別コード

A 開発調査費の場合

コード	部	コード	部	コード	部	コード	部	コード	部
5	企画部	0～2	社会開発協力部	3	農林水産計画調査部	3	林業水産開発協力部	6	無償資金協力部

B 上記以外（技術協力センター費・農林業協力費・産業開発協力費・開発協力費）の場合

コード	部	コード	部	コード	部	コード	部	コード	部	コード	部
1	社会開発協力部	8	農林水産計画 調査部	3	農業開発協力部	6	林業水産開発 協力部	9	鉱工業計画 調査部	5	鉱工業 開発協力部

④ 6～7桁目

プロジェクトの通番

その年度に新たに協力が開始されたプロジェクトに順次付番する。

⑤ 8～9桁目

A 開発調査費によるプロジェクトの場合：実施計画の通番で、年度に係りなく、協力が開始された時から順次付番する。

B 上記以外の場合：当該年度を和暦で記入。

⑥ 10桁目

A 開発調査費によるプロジェクトの場合：同一実施における調査団の通番

B 上記以外の場合：その年度における当該プロジェクトに派遣する調査団の通番

⑦ 11～12桁目

調査団員識別用の通番（ただし，“01”は団長扱い）

5. プロジェクト名の決定

① プロジェクト名の文字数は、28字以内とする。

- ② 名称は、当該プロジェクトの対象地域・物件・内容その他重要な要素を簡潔に表現したものとする。
- ③ 名称には、原則として「国名」を含まないものとする。理由は、名称を短縮するため及び出力する場合、国名とプロジェクト名を併記することによる。

ただし、国名が当該プロジェクトの一部となっている場合は除く。（例：「フィリピン工科大学……」，「ビルマ東南部……」等）

- ④ 開発調査の場合、プロジェクトのフェーズを表す用語は、名称に含める。

（例：「…… F/S 調査」，「……実施設計調査」等）

- ⑤ 下記に該当する調査のプロジェクト名は、当該各号を参考に命名する。

- ① プロジェクト・ファインディング調査は、当該調査が経済技術協力全般にわたる場合は、「経済技術協力プロジェクト選定確認」とし、特定の分野を対象としたものは、当該分野名を冠し、「……プロジェクト選定確認」とする。（例：「乾燥地農業開発協力プロジェクト選定確認」等）

ただし、当該調査が複数国にわたる場合、国名はプロジェクト概要欄に記載する。

- ② 巡回指導・計画打合せ・効果測定・機材管理指導については、対象が単一プロジェクトの場合は、同プロジェクトへの協力とし、複数のプロジェクトを対象とした場合は、当該調査を独立したプロジェクトとし、名称は共通する分野名を冠し「……巡回指導」「……機材管理指導」等とする。

（例：「家族計画巡回指導」，「電気・電子職業訓練センター計画打合せ」，「農業研究機材管理指導」等）

- ③ プロジェクト研究又は開発基礎調査による調査プロジェクト名は、それぞれのテーマ名とする。

（例：「コンサルタント契約に関する実態調査」，「造林計画基準作成調査」等）

6. プロジェクト概要の記載内容

- ① プロジェクトの対象地域・目的・協力内容等を簡潔に、72字以内で記入する。
- ② 実施計画書を作成した場合は、その「目的」欄の要約を記入する。
- ③ 記載例は、次のとおり。

(記載例)

例1 バリクババン港港湾整備計画(開発調査)

東カリマントン南部地域の開発促進のため、1985年までに実施すべき同港の建設整備計画のF/S及び2000年を目標とするM/Pの作成

例2 ルソン北西部資源開発(同上)

ルソン島北西部6000平方キロを対象として、地質調査、地化学探査、物理探査、ボーリング等による鉱物資源の賦存状況及び開発の可能性の調査

例3 フィリピン道路交通訓練センター(技術協力)

都市交通施設の改善整備に必要な技術者を養成するため、交通計画、交通工学、交通管理の3コースを設けそれらコースの教官を養成する。

例4 医療機材管理指導

ケニア・ガーナ・ナイジェリア3ヶ国における医療
協力に係る供与機材の補修管理方法の指導及び故障し
た機材の修理

7. 関連プロジェクト番号

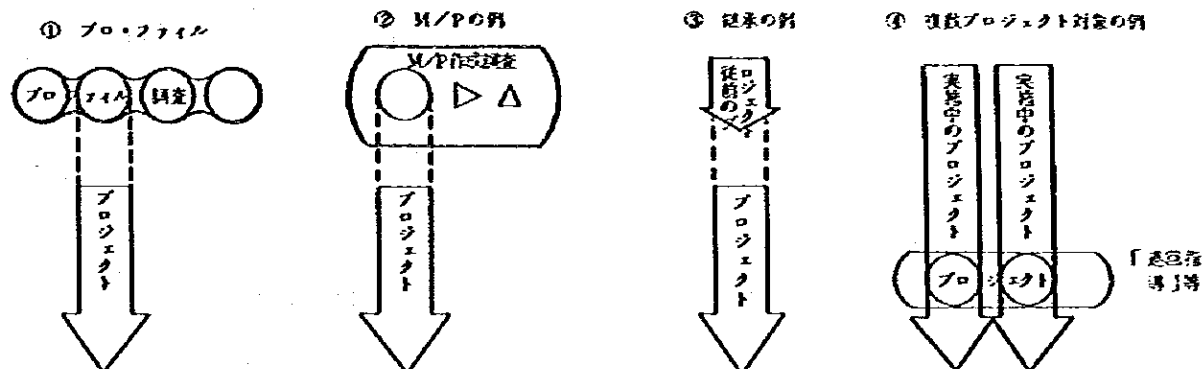
先行プロジェクトのプロジェクト番号を記入する。

先行プロジェクトは、次に掲げたもので、当該プロジェクトの実施に特に密接な関係を有するものとする。

- ① 特定の分野を対象としたプロジェクト・ファインディング調査の結果、当該プロジェクトが実施されることとなった場合は、そのプロジェクト・ファインディング調査
(例：多目的ダム建設プロ・ファイ調査→××河上流多目的ダム建設 F/S 調査)
- ② 一定地域の総合開発計画又は特定分野の総合計画のマスタープラン作成調査の結果、個々の分野における協力がプロジェクトとして実施されることとなった場合は、そのマスタープラン作成調査
(例：××市都市交通網整備計画 M/P 作成調査→バス・ターミナル建設計画 F/S 調査)
- ③ 特定のプロジェクトが実施中又は終了後、従前の協力内容が変更され、独立したプロジェクトとして実施されることとなった場合は、従前のプロジェクト
(例：××研究センター建設基本設計調査→××研究センター(技術協力)、××× F/S 調査→×××実施設計調査)
- ④ 実施中の複数のプロジェクトに「巡回指導」、「機材管理指導」等の調査団を派遣した場合は、実施中の

プロジェクト

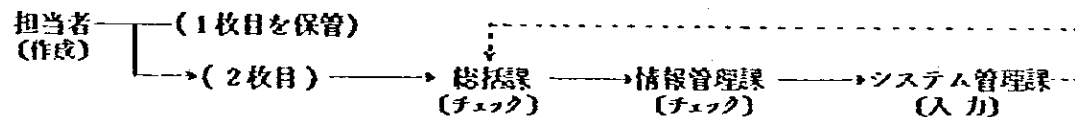
上記事例を図示すると次のとおりである。



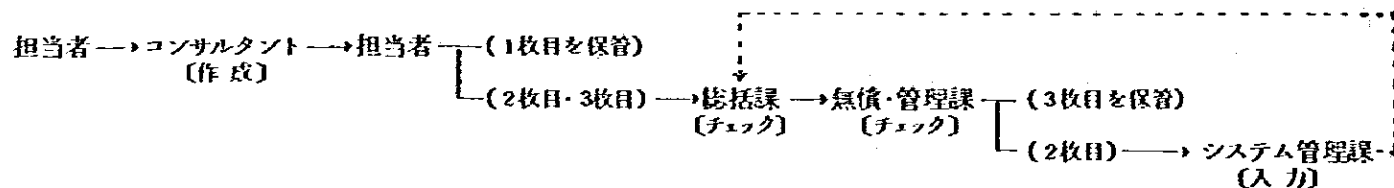
太線が「先行プロジェクト」

8. 帳票の流れ（入力帳票）

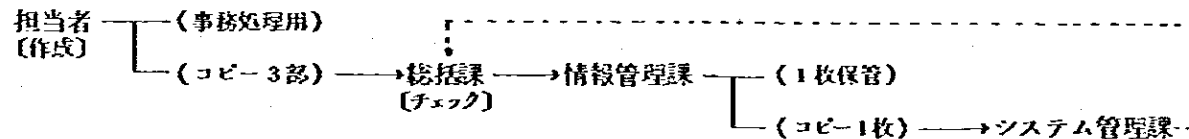
① プロジェクト登録データ・シート



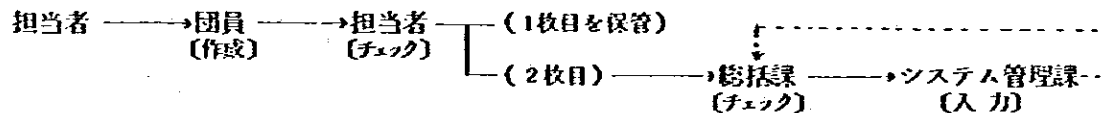
② コンサルタント契約報告書



③ 調査団派遣計画表



④ 帰国届



Ⅲ 入力帳票の記入要領

1. プロジェクト登録データ・シート

プロジェクト登録データ・シート

[illegible]

当該プロジェクトに付番された7桁の固有の番号
付番の方法は25頁を参照

新規：新たなプロジェクトの協力が開始された時に初めて当該プロジェクトの情報を入手する場合
1プロジェクト1回入力

変更：既に入力された情報の一部又は全部を修正する場合
→ 修正する部分（項目単位）のみ記入

終了：当該プロジェクトに対する協力が終了した場合
→ プロジェクト番号のみ記入

プロジェクト登録データシート

関係（担当）する国別のコード

国別	プロジェクト番号	区分	国名	区分名	国コード	区分コード	入力年月日
10	0000000	0	インドネシア	アジア	0000000	0	5/6/06

記入する数字を入れて読む

区分	国名	区分名	プロジェクトの種類	記入年月日
1	インドネシア	アジア	開発協力（海外開発を含む）	5/6/06
2			プロジェクト方式技術協力	
3			開発協力	

当該国のコード
コードは「国コード」（TRK005）を参照

プロジェクトの対象となる国名を記入
当該プロジェクトが同一地域内の複数国に属する場合は、当該地域の「区分不能（地域名）」とし、異なる地域にあたる場合は、「区分不能（世界）」とする。
国名の表記は、「国名表記及び国の地域分類について」（昭和52年通達（経）第55号）を参照

「アジア」、「中近東」、「アフリカ」、「中南米」、「オセアニア」、「ヨーロッパ」、「区分不能（世界）」のいずれかを記入

該当する項目の数字を入れて読む
「開発協力（海外開発を含む）」
「開発協力費」「海外開発員派遣費」又は「自費開発員派遣費」により実施される開発プロジェクトの場合
「プロジェクト方式技術協力」
「技術協力センター費」「開発調査協力費」「人口政策調査協力費」「農林業協力費」又は「産業開発協力費」により実施されるプロジェクトの場合
「開発協力」
「開発協力費」により実施される開発プロジェクトの場合

不要の箇所は「0」を記入

プロジェクトの英文名称を75字以内で記入。ローマ字の大文字・小文字が使用可能

プロジェクトの正式名称を255字以内で記入
プロジェクト名に含まれない国名は記入しない
重複又は記号用の小さい文字は、区別できるように記入

プロジェクトの略称を「カタカナ」で20字以内で記入。
漢字・半角英の“・”、“。”は1字分
原料として国名を記入
原料と原料の量は、できる限り1字分空ける

	和文	イ・ン・ト・ネ・シ・ア・ハ・	(注) 愛媛県立館によるプロジェクトの実入
プロジェ	英	ク・ン・フ・コ・ク	
クト名	和文	マ・ラ・ッ・カ・シ・ン・ガ・ボール海峽国	
	(漢字)	マ・ラ・ッ・カ・シ・ン・ガ・ボール海峽国	
	英文	Malacca Straits Project for Asia Pacific Region	
プロジェクト概要		マ・ラ・ッ・カ・シ・ン・ガ・ボール海峽のナ・海峽について、世界地図で位置を示し、その重要性を述べ、本と沿岸の7国とで共同作成する。	(注) 愛媛県立館の目的、関心事項を記入
関連プロジェクト番号		関連プロジェクト番号1 0・3・5・5・0・3・6	関連プロジェクト番号2 関連プロジェクト番号3 関連プロジェクト番号4

プロジェクトの概要を1マス以内で記入
 熟字・ローマ字等の使用が可。但し、1マス1字
 だけ区別される同支プロジェクトの場合は、仮名
 を記入

当該プロジェクトに関連するプロジェクトの番号を記入
本システムの開発以前のプロジェクトを関連プロジェクトとして入力したい場合は、予め四プロジェクトの登録データシートを作成し、入力しておく必要がある。

2. 調查團派遣計画表

姓名	性别	出生年月	民族	籍贯	文化程度	职业	住址	电话
30	58	08	75	10	00	02	1	

調查表 建設計畫表

日	月	年	日	月	年
10	10	1985	10	10	1985

海外センター課 越田 健

地	中東
名	エジプト

名称	和	アラブ海運大学扶エバチエーションチーム
	英	The Japanese Embarkation Team for the Arab Maritime Transport Academy

エジプト国
(英) エジプト海運省
Ministry of Maritime Transport

[illegible]

予算の年度を和暦で記入（通常実施年度：ただし予算整理期間中（4/1～4/10）に前年度予算で経過する場合のみ、前年度の年度を記入）

1桁：プロジェクト番号

2桁：実施計画の通番または実施年度

1桁：調査団の通番

経費 番号	予算 年度	調査団番号									
		実施計画番号									
30	56	0	4	7	5	1	0	3	5	6	1

調査団 派遣計画表

地域	中近東
国名	エジプト

調査団名	和	アラブ海運大学校工バリュエーションチーム
	英	The Japanese Evaluation Team for the Arab Maritime Transport Academy

26ページ参照

調査団の和文及び英文の名称を記入。特記記入上の制約はなし

担当者	担当者
1305 海外センター課	秋田 健

受入機関(和)

(英)

エジプト海運省

Ministry of Maritime Transport

様式コード	2	
予異区分		
実施調査	①	
	2	
予異年度		
56		
57年度		
調査の種類		
環境作業整理		
コード	153	
協力機関名		
実施者		
事項(予異)名称		
実施調査		
コード	02	
調査実施年度		
調査費		
調査費		
調査費		

左欄：予異科目の「項」名称を記入する
右欄：該当する項目の数字を丸印で囲む

調査の種類(調査年度区分)及び当該調査のコードを記入する

官ベースの調査団派遣について協力を得た省庁名称を10字以内で記入する

予異科目上の事項名称及び当該事項のコードを記入する

3. コンサルタント契約報告書

[illegible]

主 管 課 長	副 課 長	協 理 課 長 代 理	主 管 課 員	主 管 課 員 代 理	担 当 者

12000021A
4 0 5 6

協 理 課 長

12000021A
1 2 0 3

派遣計画表と派遣番号を記入

派遣計画表と派遣番号を記入
派遣計画表と派遣番号を記入

昭和56年9月/日現在

国際協力事業団

課 長 有 田 圭 輔 殿

派遣国 アメリカ合衆国

派遣機関 農業農村振興庁国際課

氏 名

谷 子 健太郎

調査員派遣計画表と同じ字体を用いること

下記のとおり派遣しましたのでお返事を致します。

記

日本出発日 昭和56年9月26日

現地到着日 昭和56年9月27日

日本到着日 昭和56年10月29日

現地および航空便名 ビーチ・リー・ホム (VLC-11)

任 期 26 日 間

連絡先(郵便先)住所 農林水産省 国際課 (03)512-8111

備 考
(現地及び派遣計画表)

Ⅳ 入力情報の修正

1. プロジェクト登録

(1) プロジェクト番号

既に入力されているプロジェクト番号を変更する場合は、入力済番号の削除と新番号による登録が必要である。入力済番号を削除する方法は、“プロジェクト登録データ・シート”の処理区分欄の“3”を“9”に書き直し、その“9”を○で囲むと共に、入力済のプロジェクト番号及び担当欄に記入する。その他の欄は記入不要。

新番号による登録については、通常の新規登録と同じである。

<記入例>

区 分		プロジェクト番号						処理区分	新規登録	1
1	0	0	3	5	6	3	0	8	2	2

区 分				担当者	
1	0	3		夏野 智 夏野 智	秋田 健一

(2) 国名・分野別分類

国名又は分野別分類を修正する場合は、“プロジェクト登録データ・シート”の処理区分欄の変更を表す“2”を○で囲むと共に、プロジェクト番号、担当欄を記入し、正しい国コード又は分野別分類コードを記入する。その他の欄は記入不要。

期 号	プロジェクト番号						処理区分	新 規 入 帳	① ② ③
	期	日	月	年	日	時			
10	0	3	5	6	3	08			

1203	農林部農技課	欣田健一
------	--------	------

一、読み替る数字を入れて読む。

区 分	国コード		分野	分類	プロジェクトの種類		記入年月日
	国名	コード			1	2	
	インド						
	インドネシア						
	0190				3	開発協力	

プロジェクト名の変更又は誤字・脱字等の修正を行う場合は、前記と同様処理区分欄の“2”を○で囲み、プロジェクト番号及び担当欄を記入すると共に、正しいプロジェクト名を記入する。但し、和文略称(カナ)のみを修正する場合は、和文略称のみ記入すればよい。その他の欄は記入不要。

プロジェクト概要の修正は、前記と同様に処理区分欄の“2”を○で囲み、プロジェクト番号及び担当課を記入すると共に、正しいプロジェクト概要を記入する。誤字の訂正や数文字の追加の場合でも全文を記入する。その他の欄は記入不要。

2. 調査団派遣計画表

調査団派遣計画表で入力した情報を修正（追加，削除を含む。）する場合は，“調査団派遣計画表修正データ・シート”を使用する。

(1) 調査団番号

調査団番号を誤って入力した場合，次のとおり修正する。

- ① 既に使用している調査団番号で入力した場合で，かつ，調査団員の人数が使用済の調査団の人数を超えない場合“調査団派遣計画データ確認リスト”に，“すでに該当データは存在する”旨の表示があり，出力リストには出力されない。修正は，新たな調査団番号により，調査団派遣計画表を作成する。
- ② 既に使用している調査団番号で入力した場合で，かつ，調査団員の人数が使用済の調査団の人数を超える場合，使用済の調査団の人数を超えた部分（使用済の調査団の人数が5人で，後の調査団の人数が7人の場合は，調査団派遣計画表の6人目及び7人目の2名）は，使用済の調査団の構成団員として追加されるので，この場合には追加された団員の削除と正しい番号による入力が必要である。削除の方法は，“調査団派遣計画表修正データ・シート”に予算年度，使用済の調査団番号，担当部課コードを記入し，調査団員履の処理区分の欄に，削除を意味する“9”を記入し，団員番号を記入する。他は記入不要。正しい番号による入力は，調査団派遣計画表により行う。

＜記入例＞

胡金田、沈進祥、吳友松、王行一、方之、丁一

姓名	于家	于家	于家										于家			
30	5	6	0	3	5	6	1	0	2	0	1	2	1	2	0	3

1945 JUL 12 PM 10 2

林朝英	廖正興
譚一劇	邱大平

姓名	性别	年龄	籍贯	民族	职业	文化程度	健康状况	婚姻状况	宗教信仰	其他
王德全	男	45	山东烟台	汉族	教师	高中	良好	已婚	无	

[illegible]

③ 使用されていない調査団番号で入力した場合

入力した調査団の削除と正しい調査団番号による入力が必要である。削除の方法は、"調査団派遣計画表修正データ・シート"に予算年度、調査団番号、担当部課コードを記入し、次の枠内処理区分欄に"9"を記入し、さらに全員の団員番号とその前の処理区分欄に"9"を記入する。その他の欄は記入不要。

正しい調査団番号による入力、調査団派遣計画表により行う。

(2) 氏名・担当業務・現職

氏名・担当業務又は現職の修正は、“調査団派遣計画表修正データ・シート”に、予算年度、調査団番号、担当部課コードを記入し、団員情報欄の処理区分欄に“2”を記入し、さらに団員番号を記入すると共に、正しい氏名、担当業務又は現職を記入する。

(3) 出発日・帰国日・期間

出発日・帰国日又は期間が、誤って入力され又は入力後に変更となった場合、これらの修正は帰国届により行うので特に修正作業は不要である。但し、事業団以外の予算で参加している団員については、帰国届が提出されないで、この場合には、同人に代り担当課において帰国届を作成する必要がある。

(4) 身分・号・費用出所・労災

これらの修正については、氏名等の修正方法と同様で、“調査団派遣計画表修正データ・シート”に予算年度、調査団番号、担当部課コードを記入し、団員情報欄の処理区分欄に“2”を記入し、さらに団員番号を記入すると共に、正しい身分コード等を記入する。

(5) 団員の追加

調査団派遣計画表で漏れていた団員を追加入力する場合は、“調査団派遣計画表修正データ・シート”に予算年度、調査団番号、担当部課コードを記入し、追加する団員の氏名、担当業務等必要事項を記入する。団員番号は入力済の団員の次の番号とし、処理区分欄に“1”を記入する。

(6) 団員の削除

団員の削除は、“調査団派遣計画表修正データ・シート”に予算年度、調査団番号、担当部課コードを記

入し、削除する団員の団員番号を記入する。処理区分の覆は“9”を記入する。削除した団員番号は欠番となる。なお、団員番号を繰り上げる場合は、繰り上げの該当団員全員について、新団員番号による氏名・担当業務・現職等の項目を記入した修正データ・シートを作成する。

3. コンサルタント契約報告書

コンサルタント契約報告書により入力した情報を修正する場合、同報告書で未入力であった項目を追加する場合又は精算に伴い入力済情報を修正する必要がある場合には、同報告書の処理区分覆の“2”を○で囲み、その上にある予算年度及び契約番号を記入すると共に、修正又は追加したい項目を記入する。

なお、その他の処理の方法については、前記“調査団派遣計画表”の修正方法を参照のこと。

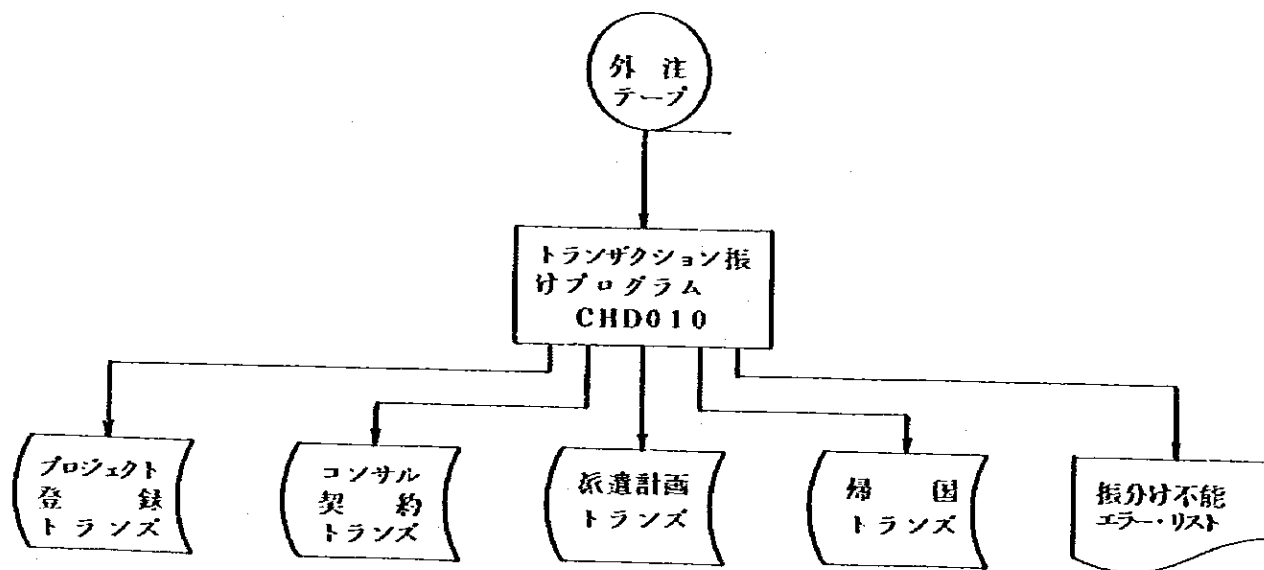
4. 帰国届

帰国届を誤って入力した場合には、次のような措置をとる必要がある。

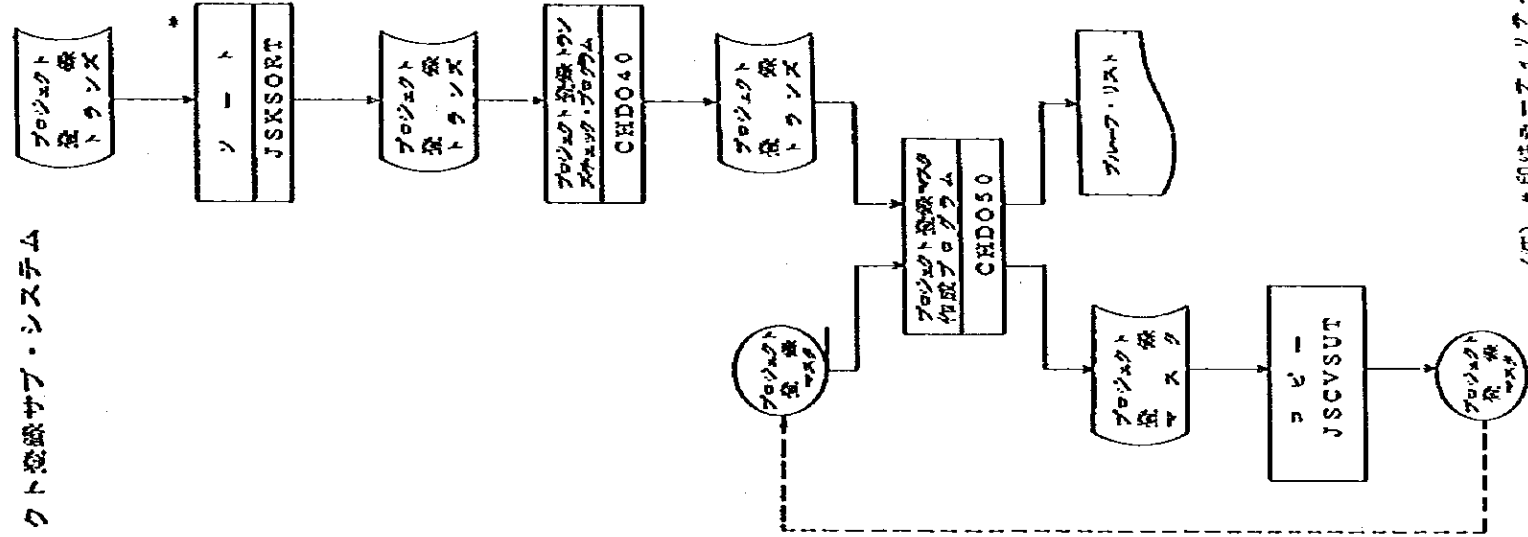
- ㊤ 調査団員番号を間違えた場合は、正しい調査団員番号で再入力する。
- ㊦ 氏名を間違えた場合は、正しい氏名で再入力する。
- ㊧ 出発日又は帰国日を間違えた場合は、“調査団派遣計画表修正データ・シート”を使用する。この場合の記入箇所は、予算年度調査団番号、担当部課コード、処理区分（“2”を記入）、団員番号及び出発日・帰国日である。なお、当該団員が複数回現地へ出張する場合（調査団派遣計画表の出発日・帰国日が2度又は3度出張予定の場合）は、総ての出張予定（出張済を含む）の出発日及び帰国日を記入する。

V ブロックフロー

1 振分けサブ・システム

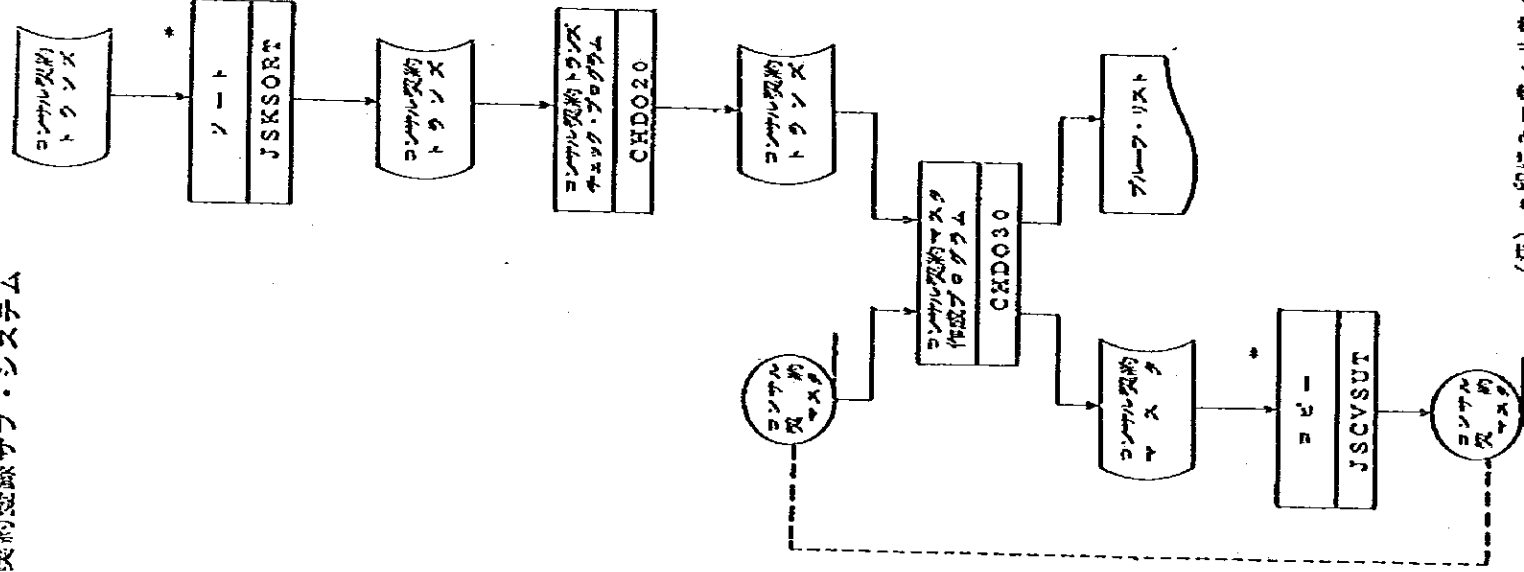


(2) プロジェクト登録サブ・システム



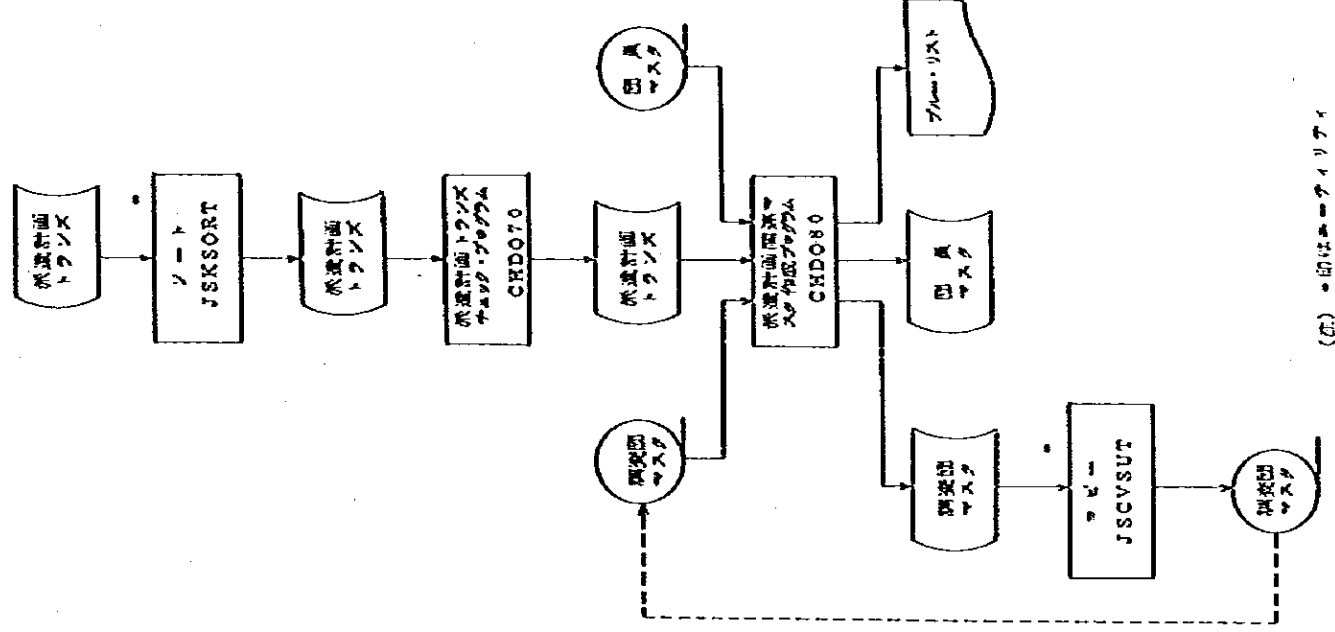
(注) *印はロープライライ

(5) コンサル契約登録サブ・システム

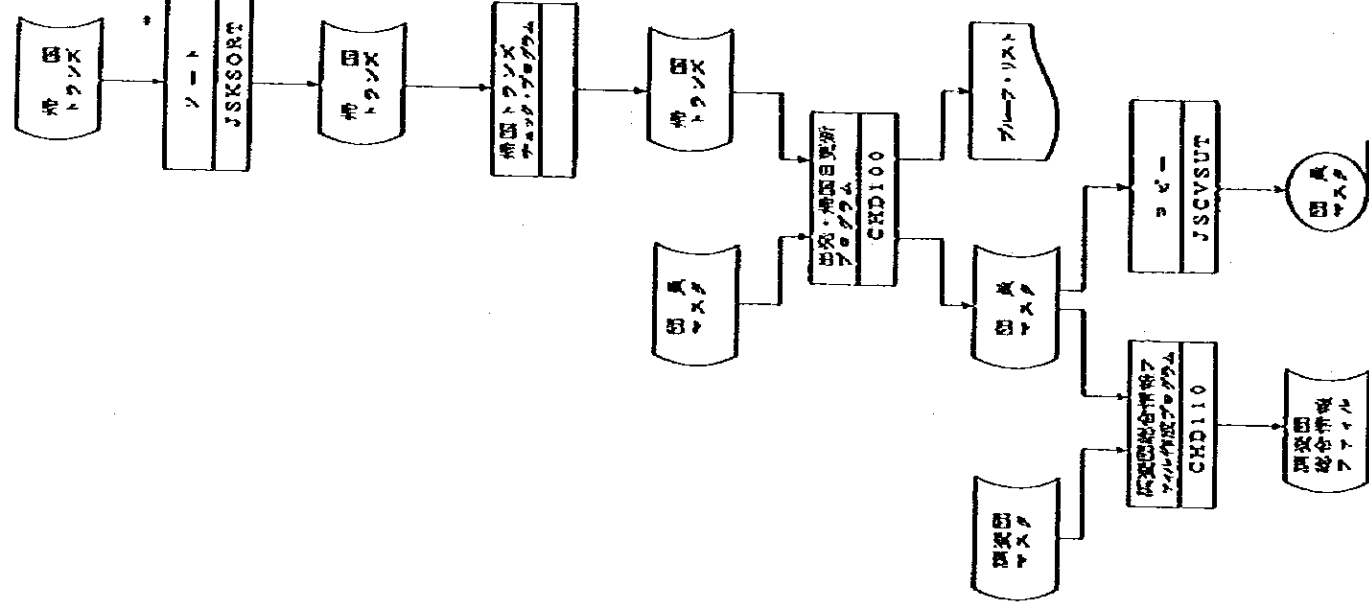


(注) *印はユーザ・リサーチ

(4) 派遣計画登録サブ・システム

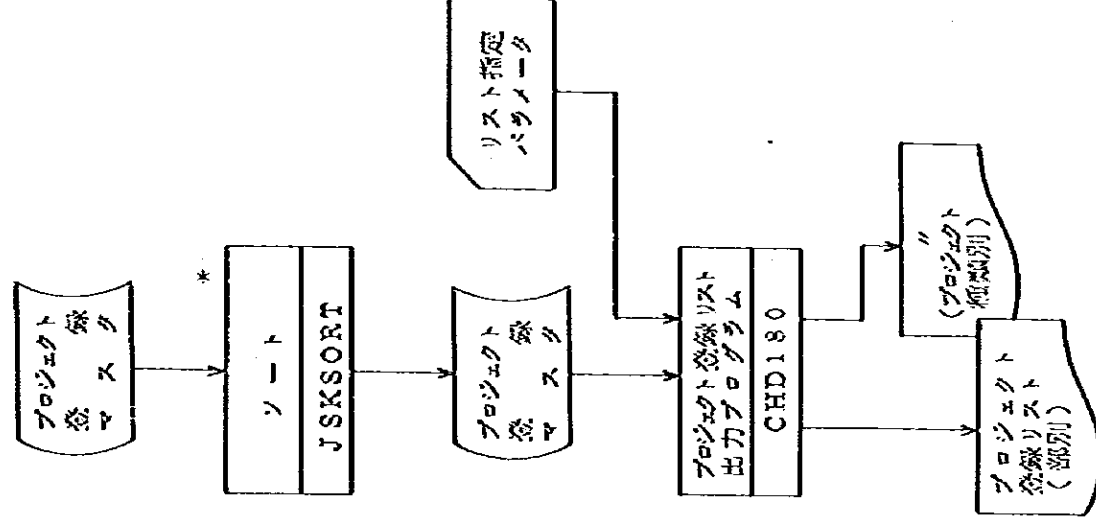


(5) 出 発・帰国日更新サブ・システム



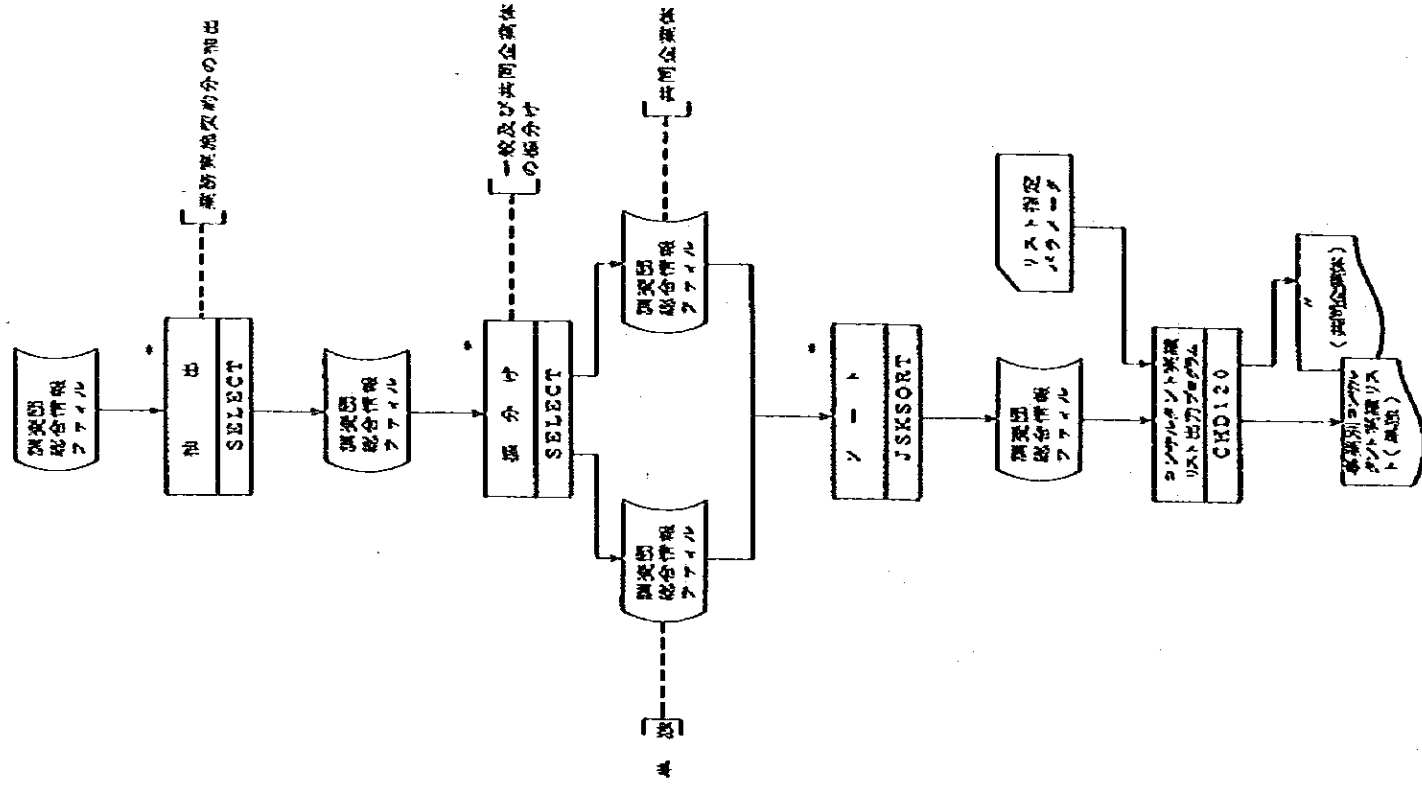
(注) 印はホームページ

(6) プロジェクト管理サブ・システム

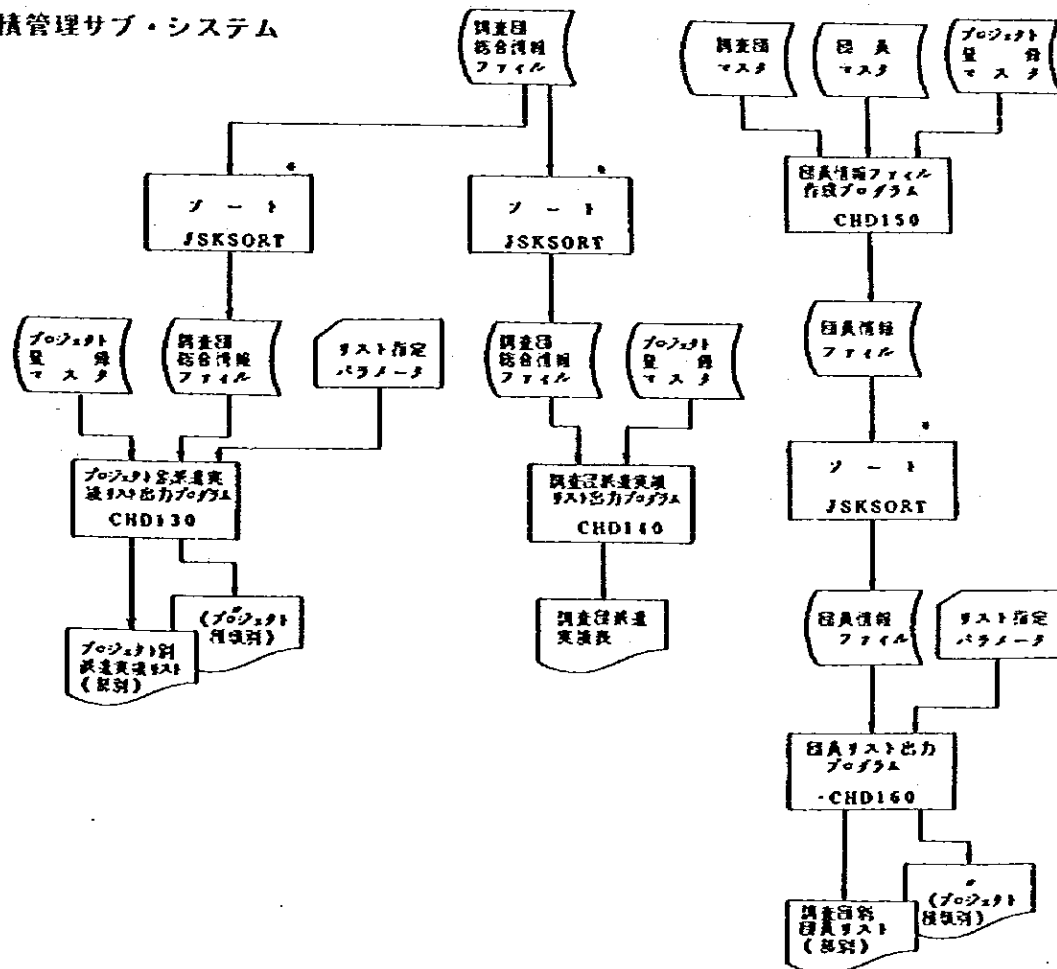


(注) *印はコンピュータグラフィ

(7) コンサルタント管理サブ・システム

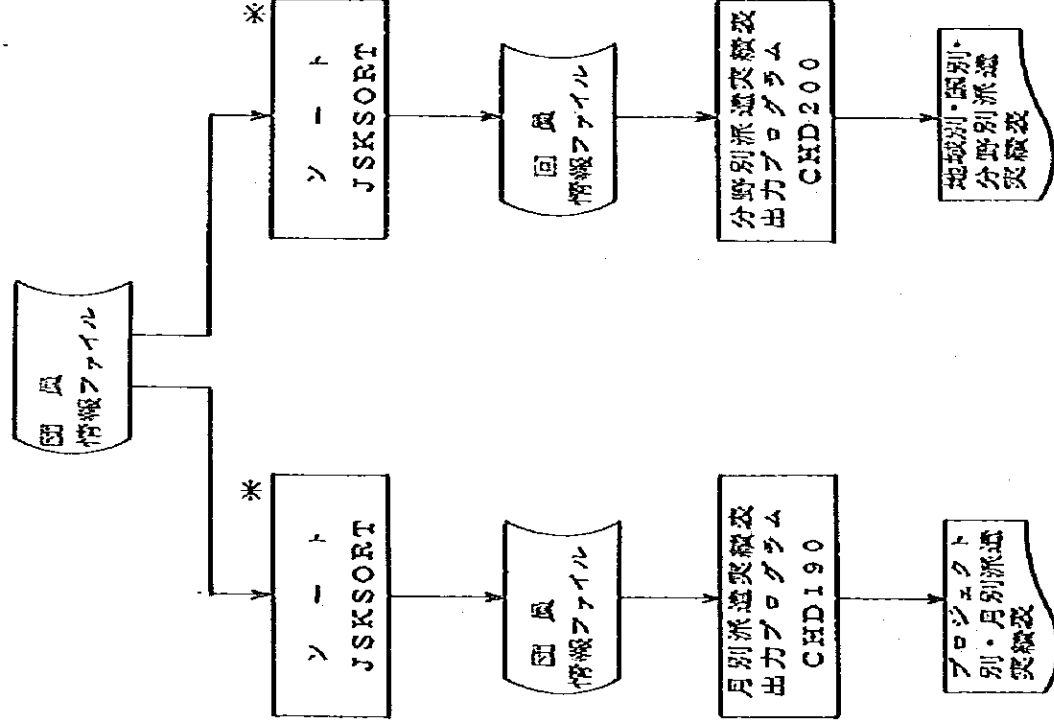


(8) 調査団実績管理サブ・システム



(注) *印はユーティリティ

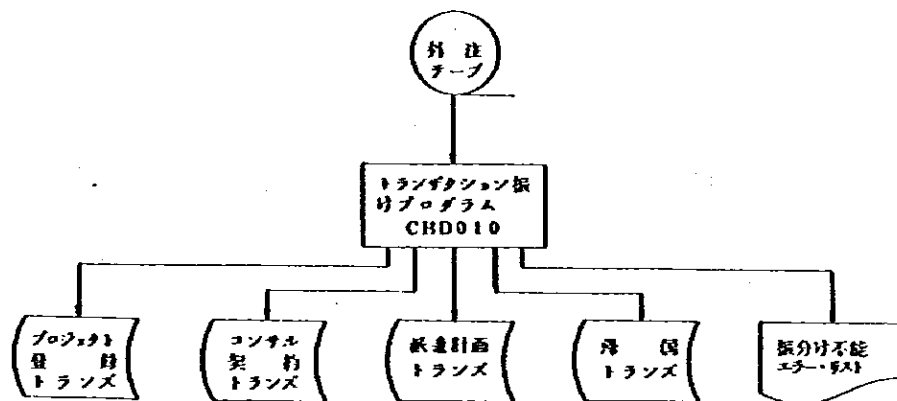
(9) 調査団統計管理サブ・システム



(注) *印はコピーライティ

V プログラム機能概要

1. トランザクション振分けプログラム



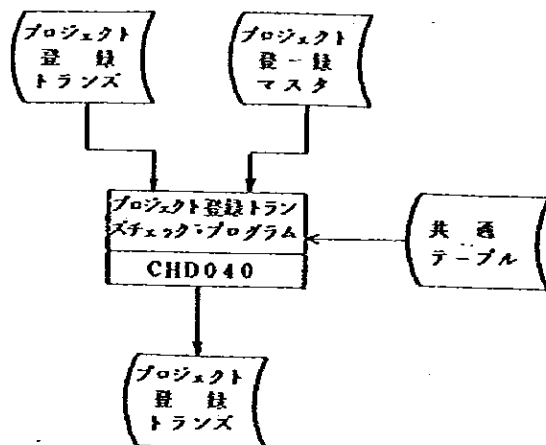
〔機能概要〕

外注パンチ業者から受取った外注テープ（各トランザクションが混在している）を読み込み、各トランザクションの先頭の振票番号情報により、各トランザクションファイルへ振分け出力する。なお、振分け不能なトランザクションが出現したならば、エラー・リストに出力する。

（注1）当プログラムでは振票番号以外の項目については一切チェックしない。

（注2）外注テープ上に該当トランザクションが一件もない場合でも該当トランザクション・ファイルを作成（OPEN→LOSE）すること。

2. プロジェクト登録トランズ・チェック・プログラム



〔機能概要〕

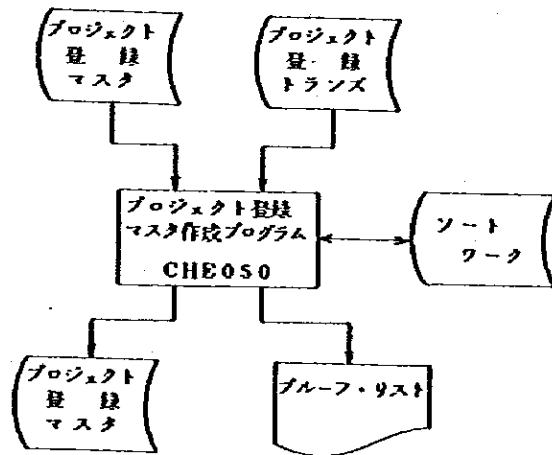
プロジェクト登録トランズを読み、項目単位の妥当性チェックを行い、エラーがあれば、トランザクション・ファイルのエラー・フィールド欄にエラー・マークをセットし再出力する。

(注1) 当プログラムでは、エラー・リストは出力せず、「プロジェクト登録マスタ作成プログラム」で項目関連チェックを行った際にプルーフ・リストにそのエラー内容を同時に出力する。

(注2) プロジェクト登録トランズは以下のキーでソートされていること。

- ① プロジェクト番号

3. プロジェクト登録マスタ作成プログラム



〔機能概要〕

プロジェクト登録トランズとプロジェクト登録マスタとのマッチング処理によりマスタの、

- ① 新規登録
- ② 変更
- ③ 削除

を行う。

この際、項目間の関連チェックを行いエラーがある場合には、その旨のメッセージをブルーフ・リスト上に出力する。

(注1) 項目エラーがある項目に対する関連チェックは行なわない。

(注2) ブルーフ・リストには入力された全てのトランザクションを出力する。

(注3) 項目エラー、関連項目エラーのあるものはマスタに登録しない。

(クリーン・データのみマスタに登録)

(注4) ブルーフ・リストは部別に出力する。

(ソートは内部ソートで行う)

4. コンサル契約トランズチェック・プログラム

〔機能概要〕

コンサル契約トランズを読み、項目単位の妥当性チェックを行い、エラーがあれば、トランザクション・ファイルのエラー・フィールド欄にエラー・マークをセットし、再出力する。

(注1) 当プログラムではエラー・リストは出力せず、「コンサル契約マスタ作成プログラム」で、項目関連チェックを行った際にプルーフ・リストに同時に出力する。(エラー・リストの一本化)

(注2) コンサル契約トランズは以下のキーでソートされていること。

- ① 予算年度
- ② 実施計画番号



5. コンサル契約マスタ作成プログラム

〔機能概要〕

コンサル契約トランズとコンサル契約マスタとのマッチング処理によりマスタの、

- ① 新規登録
- ② 変 更
- ③ 削 除

を行う。

この際、項目間の関連チェックを行い、エラーがある場合には、その旨のメッセージをブルーフ・リスト上に出力する。

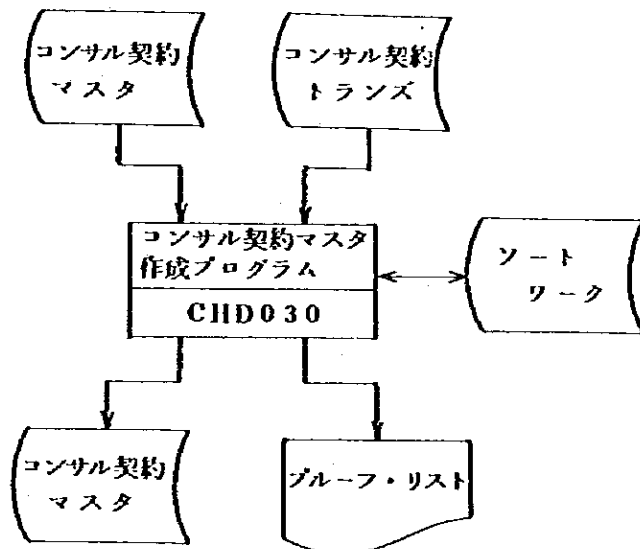
(注1) 項目チェックですでにエラーがあるものは、関連チェックは行わない。

(注2) ブルーフ・リストには入力された全てのトランザクションを出力する。

(注3) 項目エラー、関連項目エラーのあるものはマスタに登録しない。
(クリーン・データのみマスタに登録)

(注4) ブルーフ・リストは部別に出力する。

(ソートは内部ソートで行う)



6. 派遣計画トランズチェック・プログラム

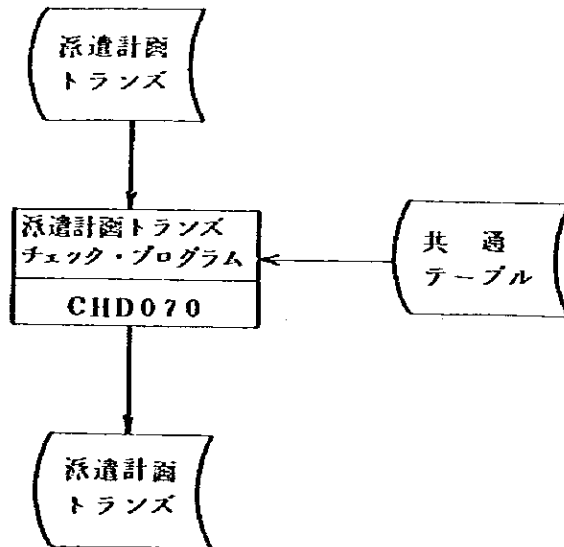
〔機能概要〕

派遣計画トランズを読み、項目単位の妥当性チェックを行い、エラーがあれば、トランザクション・ファイルのエラー・フィールド欄にエラー・マークをセットし再出力する。

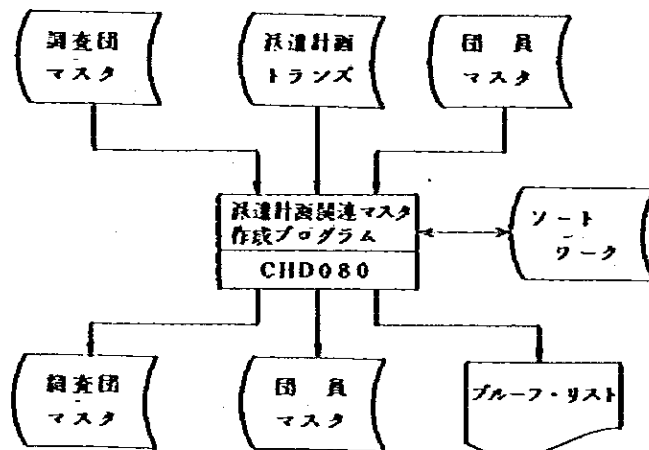
〔注1〕当プログラムでは、エラーリストは出力せず、「派遣計画関連マスタ作成プログラム」で項目関連チェックを行った際にプルーフ・リストにそのエラー内容を同時に出力する。

〔注2〕派遣計画トランズは以下のキーでソートされていること。

- ① 予算年度
- ② 調査団番号
- ③ 様式コード
- ④ 団員名



7. 派遣計画関連マスタ作成プログラム



〔機能概要〕

派遣計画トランズと調査団マスタ、団員マスタとのマッチング処理によりマスタの、

- ① 新規登録
- ② 変更
- ③ 削除

を行う。

この際、項目間の関連チェックを行い、エラーがある場合には、その旨のメッセージをブルーフ・リスト上に出力する。

(注1) 項目エラーがある項目に対しては関連チェックは行わない。

(注2) ブルーフ・リストには入力された全てのトランザクションを出力する。

(注3) 項目エラー、関連項目エラーのあるものはマスタに登録しない。

(注4) ブルーフ・リストは部別に出力する。

(ソートは内部ソートで行う)

(注5) トランザクションの様式コード「01」が団員マスタ、「02」が調査団マスタに対応する。

8. 出発・帰国トランズ・チェック・プログラム

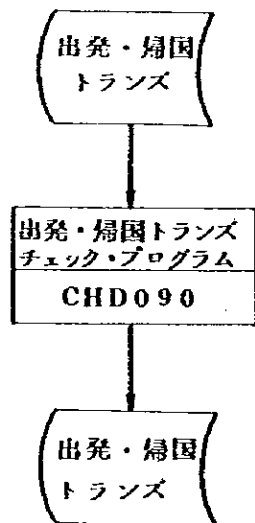
〔機能概要〕

出発・帰国トランズを読み、項目単位の妥当性チェックを行い、エラーがあれば、トランザクション・ファイルのエラー・フィールド欄にエラー・マークをセットし再出力する。

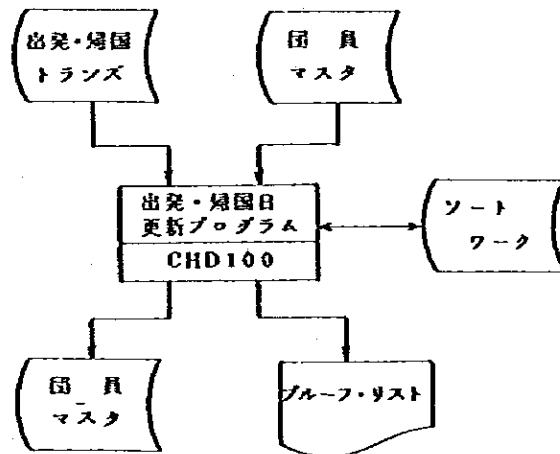
(注1) 当プログラムではエラー・リストは出力せず、「出発・帰国日更新プログラム」で項目関連チェックを行った際にプルーフ・リストにそのエラー内容を同時に出力する。

(注2) 出発・帰国トランズは以下のキーでソートされていること。

① 調査団番号



9. 出発・帰国日更新プログラム



〔機能概要〕

帰国トランザクションにより団員マスタ上の出発日、帰国日を更新する。

この際、妥当性チェックを行い、エラーがある場合には、その旨のメッセージをプルーフ・リスト上に出力する。

(注1) 項目チェックですでにエラーがあるものは、妥当性チェックを行わない。

(注2) プルーフ・リストには入力された総てのトランザクションを出力する。

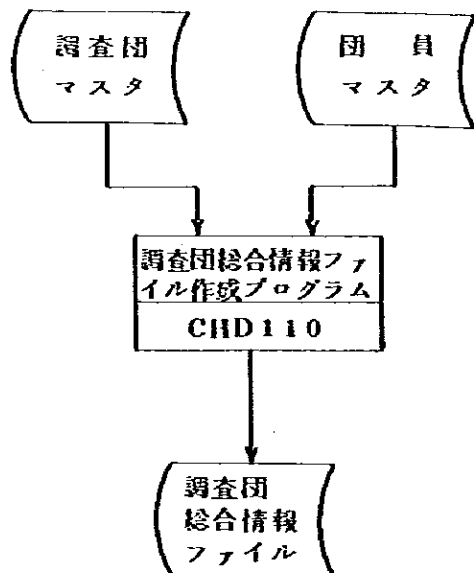
(注3) 項目エラー、妥当性エラーのある場合には、出発・帰国日の更新は行わない。

(注4) プルーフ・リストは部別に出力する。

(ソートは内部ソートで行う)

10. 調査団総合情報ファイル作成プログラム

〔機能概要〕



調査団マスタ及び団員マスタにより調査団総合情報ファイルを作成する。
当ファイルは以降の各リスト出力プログラムの処理を容易にするための
ファイルであり、1調査団1レコードの構成である。

当プログラムでは、調査団マスタ及び団員マスタにより以下の情報を求
める。

- ① 調査団員数
- ② 調査期間
- ③ 工数(人員)

11. プロジェクト登録リスト出力プログラム

〔機能概要〕

プロジェクト登録マスタを読み込み、リスト指示パラメータに従い、
部別又はプロジェクトの種類別にプロジェクト登録リストを出力する。

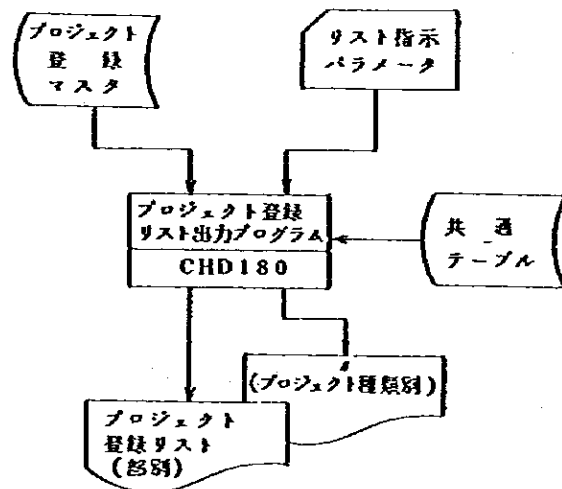
(注1) プロジェクト登録マスタは以下のキーでソートされていること。

部別の場合

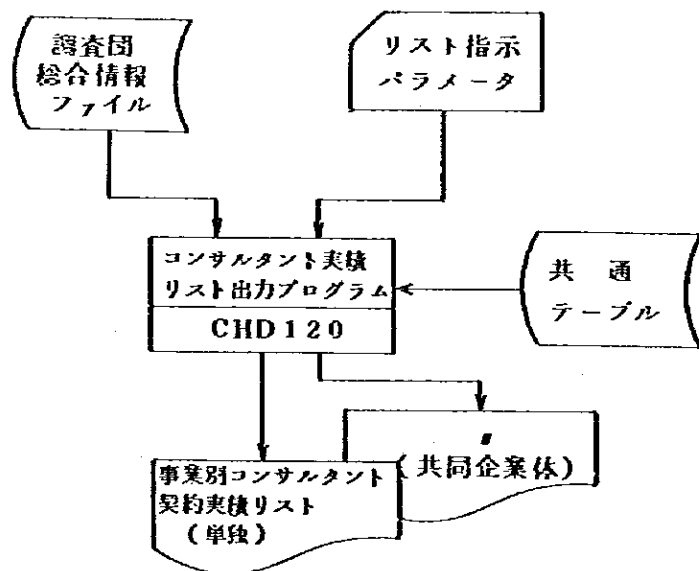
- ① 担当部コード
- ② プロジェクト種類コード
- ③ 国コード
- ④ プロジェクト番号

プロジェクト種類別の場合

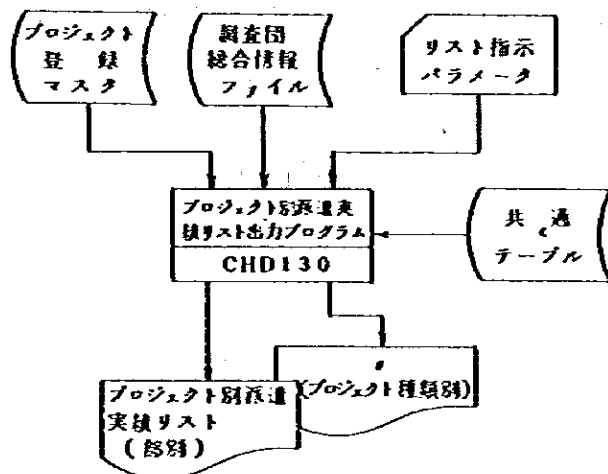
- ① プロジェクト種類コード
- ② 担当部コード
- ③ 国コード
- ④ プロジェクト番号



12. コンサルタント実績リスト出力プログラム



13. プロジェクト別派遣実績リスト出力プログラム



〔機能概要〕

調査団総合情報ファイル及びプロジェクト登録マスタを読込み、リスト指示パラメータに従い、部別及びプロジェクト種類のプロジェクト別派遣実績リストを出力する。

(注1) 調査団総合情報ファイルは下記のキーでソートされていること。

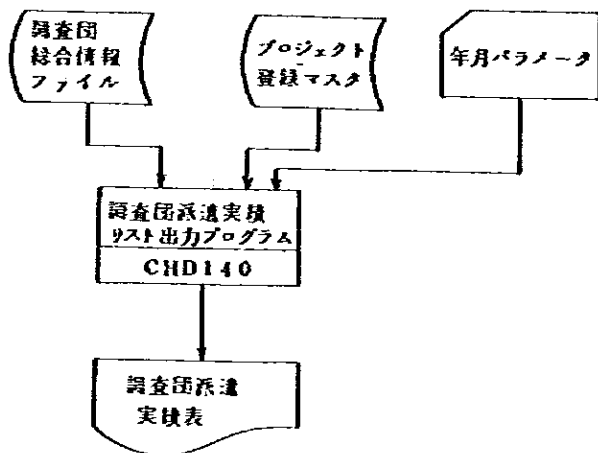
部別の場合

- ① 担当部コード
- ② プロジェクト種類コード
- ③ 国コード
- ④ 調査団番号

プロジェクト種類別の場合

- ① プロジェクト種類コード
- ② 担当部コード
- ③ 国コード
- ④ 調査団番号

14. 調査団派遣実績リスト出力プログラム



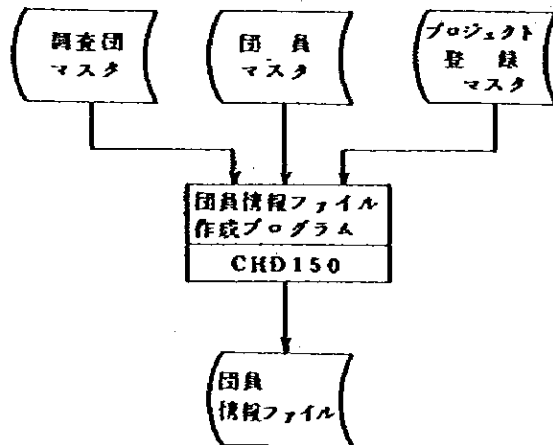
〔機能概要〕

調査団総合情報ファイル及びプロジェクト登録マスタを読込み、年月パラメータで指定された年月に出発する調査団を抽出し、調査団派遣実績表を出力する。

(注1) 調査団総合情報ファイルは下記のキーでソートされていること。

- ① プロジェクト種類コード
- ② 国コード
- ③ 調査団番号

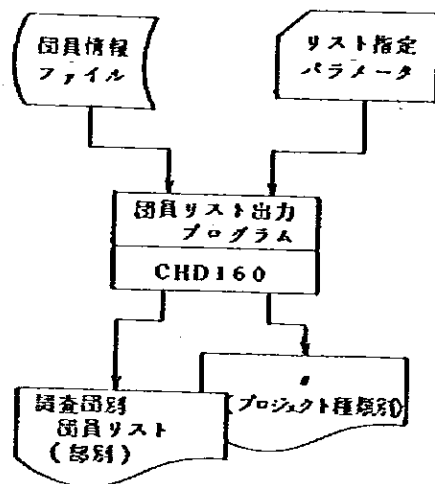
15. 団員情報ファイル作成プログラム



〔機能概要〕

調査団マスタ、団員マスタ及びプロジェクト登録マスタを読み込み、団員情報ファイルを作成する。当ファイルは以降の各リスト出力プログラムの処理を容易にするためのものであり、団員1名の情報が1レコードとなっている。

16. 団員リスト出力プログラム



〔機能概要〕

団員情報ファイルを読み、リスト指定パラメータに従い、部別又は調査方式別の調査団別団員リストを出力する。

(注1) 団員情報ファイルは下記のキーでソートされていること。

部別の場合

- ① 担当部コード
- ② プロジェクト種類コード
- ③ 国コード
- ④ 調査団番号
- ⑤ 団員名

プロジェクト種類別の場合

- ① プロジェクト種類コード
- ② 担当部コード
- ③ 国コード
- ④ 調査団番号
- ⑤ 団員名

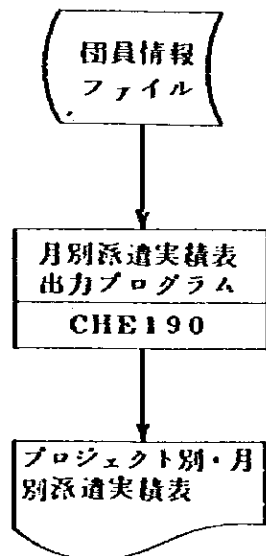
17. 月別派遣実績表出力プログラム

〔機能概要〕

団員情報ファイルを読み込み、プロジェクト別・月別派遣実績表を出力する。

（注1）団員情報ファイルは下記のキーでソートされていること。

- ① 事業費コード
- ② 国コード
- ③ 調査団番号



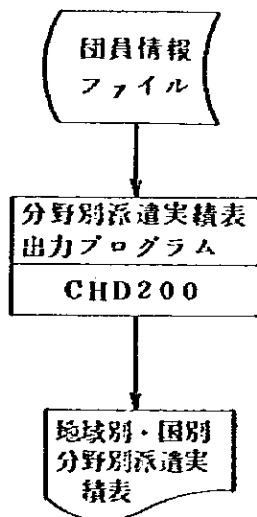
18. 業種別派遣実績表出力プログラム

〔機能概要〕

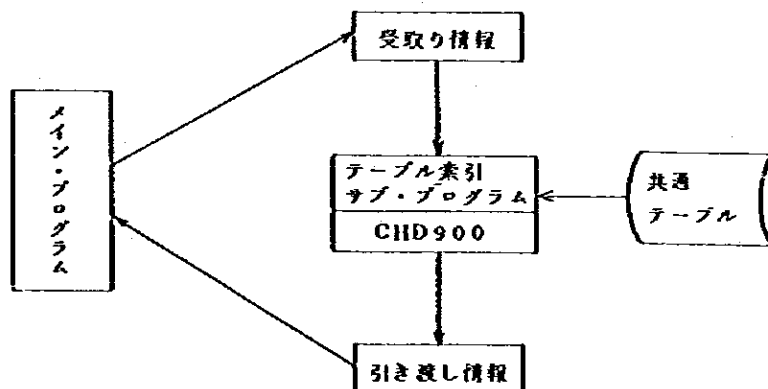
団員情報ファイルを読み込み、地域別・国別・分野別派遣実績表を出力する。

（注1）団員情報ファイルは下記のキーでソートされていること。

- ① 事業費区分
- ② 分野別分類コード
- ③ 国コード



19. テーブル索引サブ・プログラム



〔機能概要〕

当プログラムは、各種コードのチェック及びコードに対する名称（内容）を取り込む場合に、メイン・プログラムより呼び出される。

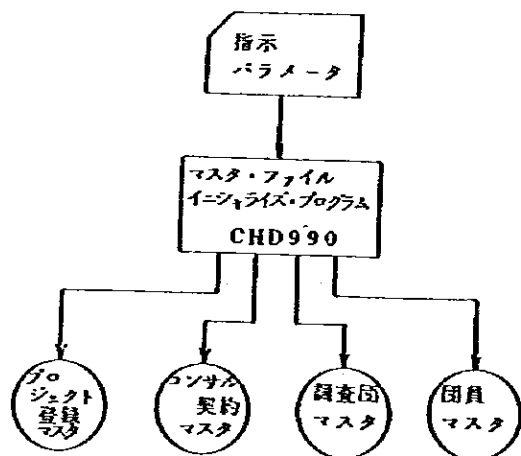
当プログラムが対象とするコードは下記のものである。

<対象とするコード>

- ① 担当部課コード
- ② 国コード
- ③ 分野別分類コード
- ④ プロジェクト種類コード
- ⑤ 身分コード
- ⑥ 調査種類コード

（注1）①担当部課コード、②国コード、③分野別分類コードに対して当プログラムより、既存プログラムである「TABLE 7」を再呼び出して処理する。

20. マスタ・ファイル・イニシャライズ・プログラム



1. 指示パラメータに従いヘッダー・レコードのみのマスタ・ファイルを作成する。

V ファイル・フォーマット



入出力設計用紙

国連団員連係システム プロジェクト登録マスク

STD OHT	500 -11	1000 /1000	F V	SAM
------------	------------	---------------	--------	-----

DATE	PAGE	OF

国際協力事業団

プロジェクト番号 年 月 日 00 00 00	相対 110	絶対 110	重複コード 大分 02 02 02	プロジェクト 小分 00 00 00	プロジェクト名 (コナ)	プロジェクト名 (英文字)	K (26)	K (26)	K (26)
-------------------------------	-----------	-----------	-------------------------	--------------------------	-----------------	------------------	--------	--------	--------

プロジェクト名 (英文字)	K (136)
------------------	---------

K (2)	プロジェクト名 (英文字)	K (2)
-------	------------------	-------

K (36)	関連プロジェクト番号 (1) (2) 00 00
--------	--------------------------------

00 00 00 00	年 月 日
----------------	-------



入出力設計用紙

(1) 契約利用レコード (収票NO = 1001)

JICA
経費団派遣情報システム
システム
コンサル契約マスタ

STD	500	1000	F	VSAM
OMT	500	1000	V	

DATE
PAGE 01
国際協力事業団

手続年度	契約番号		契約方式	契約金額	技術費	契約履行期間		契約コンサルタント						関係人			区分		備考	
	プロジェクト番号	契約番号				開始日	終了日	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	関係人	関係人	関係人	区分	区分	(1)	(2)
92	100	100	X03	5,000	5,000	92/02/01	92/02/28	100	100	100	100	100	100	関係人	関係人	関係人				

コンサルタント			関係人	関係人
(1)	(2)	(3)		
100	100	100	100	100

手続年度	契約番号		氏名		関係人		関係人	
	プロジェクト番号	契約番号	(1文字)	(1文字)	(1文字)	(1文字)	(1文字)	(1文字)
92	100	100	K (H)	K (H)	K (H)	K (H)	K (H)	K (H)

氏名		関係人	関係人
(1文字)	(1文字)		
K (H)	K (H)	K (H)	K (H)

氏名		関係人	関係人
(1文字)	(1文字)		
K (H)	K (H)	K (H)	K (H)

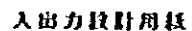


調査団速報システム
調査団マスタ

STD			F	VSAM
ORI	106	4.00	V	

DATE _____
PAGE _____ OF _____
國際協力事業團

[illegible]



調査団談話情報システム

圖員 二 九 九

STB			F	YSAN
UNT	258	400	Y	

DATA

P 4-37

14 2 14 1 1 1 1

子 部 年 度	编 号		引 出 部 门	姓 名		氏 名	姓 名	姓 名	姓 名		
	编 号	编 号		姓	名					姓	名
22	1(10)	22	1(10)	K(10)	K(10)	K(10)	K(10)	K(10)	K(10)		

	(甲) 乙 丙														
	丙 日			丙 日			丙 日			丙 日					
	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日			
92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92 92															

本 使 局	
Ⅱ (B)	

--



入出力設計用紙

調査団隊連絡システム
調査団隊合宿帳ファイル

STD	250	1,000	F	VSAM
ONT	YES	YES	Y	

DATE _____
PAGE _____
調査団隊合宿帳

年 月 日	調査団隊番号		調査団 名	調査団 員名	調査団 員番号	調査団隊合宿帳						調査団隊合宿帳		調査団 員名	調査団 員番号
	調査団 番号	調査団 員番号				調査団 名		調査団 員名		調査団 員番号		調査団 員番号			
						(4文字)	(4文字)	(4文字)	(4文字)	(4文字)	(4文字)				

調査団 番号	調査団隊合宿帳					(4文字)	未使用
	調査団 番号	調査団 員番号	調査団 名	調査団 員名	調査団 員番号		

未使用	未使用
X (4)	X (4)

--

--



調査団派遣情報システム

791018 役員情報ファイル

P < 0	0.010	0.001	0.000	0.000
STD			F	SAM
OMT	252	1,000	Y	

— ୧୫୫ —

PAGE 1 OF 1

國 際 法 力 有 實 效

年 度	研究員番号		所属機関	担当期間	西 フ ィ ー	食料分類			ア ン ・ シ ャ ・ ナ ム		氏 名		(和文字) 姓 名 苗 名
	主 席 番 号	研 究 員 番 号				大 分 類	中 分 類	小 分 類	(和文字)	(和文字)	(和文字)	(和文字)	
									姓	名	姓	名	
昭和56年度	9 (10)	2158	103	100	110	F (4)			K (16)		K (4)	K (4)	K (K)

項 目 名 稱 (用文字)	(1)			(2)			(3)											
	起 點 日	終 點 日	施 測	起 點 日	終 點 日	施 測	起 點 日	終 點 日	施 測									
	年 月 日	年 月 日	施 測	年 月 日	年 月 日	施 測	年 月 日	年 月 日	施 測									
注 意 事 項 (用文字)	1992	12	12	92	12	12	92	12	12	92	12	12	92	12	12	92	12	12

未 便 局			
--	--	--	--

Ⅷ コード

1. 担当部課コード

コード	部 課 名	コード	部 課 名	コード	部 課 名
	企 画 部		農林水産計画調査部		鉱工業計画調査部
0601	企 画 課	1701	農 林 水 産 計 画 課	2301	鉱 工 業 計 画 課
0602	地 域 課	1703	農 林 水 産 技 術 課	2302	工 業 調 査 課
	調 達 部			2303	資 源 調 査 課
0801	管 理 課				
	社会開発協力部		農業開発協力部		鉱工業開発協力部
1301	社会開発計画課	1901	農 業 開 発 課	2501	鉱工業開発技術課
1302	開発調査第一課	1902	畜 産 開 発 課	2502	鉱工業投融資課
1304	開発調査第二課	1904	農業技術協力課		
1305	海外センター課	1903	農 業 投 融 資 課		
	医療協力部		林業水産開発協力部		無償資金協力部
1501	管 理 課	2101	林 業 開 発 課	2701	無償資金協力計画課
1502	医 療 協 力 課	2103	林 業 投 融 資 課	2702	基 本 設 計 課
1503	医療協力特別業務室	2105	水産業技術協力室	2703	業 務 課

2. 国コード

コード	国名	コード	国名	コード	国名	コード	国名	コード	国名
0000	(アジア地域)	1160	イラク	2210	エチオピア	2850	ジンバブエ	3760	ウルグアイ
0010	バングラデシュ	1220	ジョルダン	2230	ガボン	2990	区分不能(アメリカ)	3790	ヴェネズエラ
0040	ブータン	1250	クウェイト	2250	ガンビア			3800	覚領アンティル
0070	ビルマ	1280	レバノン	2270	ガーナ	3000	(中南米地域)	3990	区分不能(中南米)
0100	カンボディア	1290	リビア	2290	ギニア	3010	アルゼンティン		
0130	中国	1310	モロッコ	2310	ギニア・ビサウ	3040	バハマ	4000	(オセアニア地域)
0160	インド	1340	オマーン	2330	象牙海岸	3070	バルバドス	4040	フィジー
0190	インドネシア	1370	カタール	2350	ケニア	3100	ボリヴィア	4070	ナウル
0220	韓国	1400	サウディ・アラビア	2370	レソト	3130	ブラジル	4130	バプア・ニューギニア
0280	ラオス	1430	スーダン	2390	リベリア	3160	チリ	4160	トンガ
0310	マレーシア	1460	シリア	2410	マダガスカル	3190	コロンビア	4190	西サモア
0340	モルディブ	1490	チュニジア	2430	マラウイ	3220	コスタ・リカ	4220	キリバス
0370	モンゴル	1520	トルコ	2450	マリ	3250	キューバ	4230	トクバル
0400	ネパール	1550	イエメン	2470	モーリタニア	3270	ドミニカ	4250	フロモン諸島
0430	パキスタン	1580	南イエメン	2490	モーリシアス	3280	ドミニカ共和国	4280	米領太平洋諸島
0460	フィリピン	1610	アラブ首長国連邦	2510	モザンビーク	3310	エクアドル	4310	ミクロネシア
0490	シンガポール	1990	区分不能(中近東)	2530	ニジェール	3340	エル・サルヴァドル	4320	ヴァスアツ
0520	スリ・ランカ			2550	ナイジェリア	3370	グレナダ	4340	マリアナ諸島
0550	タイ	2000	(アフリカ地域)	2570	ルワンダ	3400	グアテマラ	4350	マーシャル
0580	ヴィエトナム	2010	アンゴラ	2590	サントメ・プリンシペ	3430	ガイアナ	4360	パラオ
0610	ブルネイ	2030	ベナン	2610	セネガル	3460	ハイティ	4370	西カロリン諸島
0970	マラッカ	2050	ボツワナ	2630	セイシエル	3490	ホンデュラス	4400	キップ島
0980	メコン	2070	ブルンディ	2650	シエラ・レオネ	3520	ジャマイカ	4990	区分不能(オセア)
0990	区分不能(アジア)	2090	カメルーン	2670	ソマリア	3550	メキシコ		
		2110	カーボ・ヴェルデ	2710	スワジランド	3580	ニカラグア	9990	区分不能(世界)
1000	(中近東地域)	2130	中央アフリカ	2730	タンザニア	3610	パナマ		
1010	アフガニスタン	2150	チャード	2750	トーゴ	3640	パラグアイ		
1040	アルジェリア	2160	コモロ	2770	ウガンダ	3670	ペルー		
1070	バハレーン	2170	コンゴ	2790	上ヴォルタ	3680	プエルトリコ		
1100	エジプト	2180	ジブチ	2810	ザイール	3700	スリナム		
1130	イラン	2190	赤道ギニア	2830	ザンビア	3730	トリニダード・トバゴ		

3. 分野別分類コード

大分類	中分類	コード	小分類	大分類	中分類	コード	小分類	大分類	中分類	コード	小分類
計画行政	開発計画 行政	10 10 10	開発計画一般	農林水産	農 業	30 10 10	農 業 一 般	人的資源	観 光	60 20 10	観 光 一 般
		10 10 20	総合地域開発計画			30 10 20	養 蚕			60 20 20	観 光 遊 覧
		10 20 10	行政一般			30 10 30	農 業 土 木 技 術			70 10 10	人的資源一般
		10 20 20	財政・金融			30 10 40	農 業 機 械 工 業			70 10 20	教 育
		10 20 30	環境問題			30 10 50	農 産 加 工 産 品			70 10 30	教 養 訓 練
		10 20 40	技術・計画			30 20 10	畜 産 畜 舎 衛 生			70 20 10	科 学 文 化
		10 20 50	情報・広報			30 20 20	畜 産 畜 舎 衛 生			70 20 20	科 文 化
						30 20 30	畜 産 畜 舎 衛 生				
						30 30 10	林 産 加 工 産 品				
						30 30 20	林 産 加 工 産 品				
公共事業	公益事業	20 10 10	公益事業一般	林 業	水 産	30 40 10	水 産 加 工 産 品	保健医療	保健医療	80 10 10	保 健 医 療
		20 10 20	上 水 道			30 40 20	水 産 加 工 産 品			80 10 20	人 口 家 族 計 画
		20 10 30	下 水 道								
		20 10 40	都市衛生								
		20 20 10	運輸交通一般			40 10 10	鉄 工 業 一 般	社会福祉	社会福祉	90 10 10	社 会 福 祉
		20 20 20	道路			40 20 10	工 業 一 般			90 10 20	社 会 福 祉
		20 20 30	陸 運			40 20 20	化 学 工 業			90 10 30	社 会 福 祉
		20 20 40	鉄 道			40 20 30	鉄 鋼 非 鉄 金 属			90 10 40	社 会 福 祉
		20 20 50	港湾・海運			40 20 40	機 械 工 業			90 10 50	社 会 福 祉
		20 20 60	航空・空港			40 20 50	機 械 工 業				
		20 20 70	都市交通			40 20 60	パルプ・木材製品				
		20 20 80	気象・地質			40 20 70	食 品 工 業				
		20 30 10	社会基盤一般			40 20 99	そ の 他 工 業				
	社会基盤	20 30 20	河川・砂防	エネルギー	エネルギー	50 10 10	エ ネ ル ギ ー 一 般	その他	その他	99 99 99	そ の 他
		20 30 30	都市計画・土地利用			50 10 20	電 力				
		20 30 40	建築住宅			50 10 30	ガ ス ・ 石 油				
		20 30 50	測量地図			50 10 40	新・再生エネルギー				
		20 40 10	通信放送一般			50 10 99	そ の 他 エ ネ ル ギ ー				
		20 40 20	郵便								
		20 40 30	電気通信			60 10 10	商 業 経 営				
		20 40 40	放送			60 10 20	買 入				
	通信・放送										

4. 契約内容の登録区分コード

＜上4桁＞

大分類	小分類	コード	大分類	小分類	コード	大分類	小分類	コード
開発計画	開発計画一般	1010	地質調査	ボーリング	2310	農 業	農業一般	3010
	総合・地域開発計画	1020		その他	2390		養 蚕	3030
	移市開発計画	1030					農業土木	3040
	環境保全計画	1050					農業機械化	3050
	経済開発計画	1070					農産品加工	3060
	その他	1090					その他	3090
建 設	河川・砂防・海岸	2010	建 築	住 宅	2510	畜 産	畜産一般	3210
	港湾・空港	2030		教育訓練施設	2520		家畜衛生	3220
	橋 梁	2010		文化研究施設	2523		畜産品加工	3230
	道 路	2043		医療・福祉施設	2530		その他	3290
	鉄 道	2046		通信・放送施設	2540	林 業	畜産一般	3210
	地 質	2050		生産・流通施設	2550		家畜衛生	3220
	土質・基礎	2053		その他	2590		畜産品加工	3230
	水 道	2060	運輸交通	運輸・交通一般	2710		その他	3290
	(上・下水通及び下水道)	2060		海運・船舶	2720	水 産	林業一般	3410
	トンネル	2079		陸 運	2730		森林土木	3420
測 量	その他	2090		鉄道・交通	2740		林産品加工	3430
	一般測量	2210		航 空	2750		その他	3490
	航空測量	2220	通信・放送	その他	2790		漁業一般	3610
	海洋測量	2230		通信・放送一般	2910		増・養殖	3620
	その他	2290		電信・電話	2920		水産品加工	3630
				ラジオ・テレビ放送	2930		その他	3690
				郵 便	2950			
				その他	2990			

大分類	小分類	コード	大分類	小分類	コード	大分類	小分類	コード
工業一般	工業団地	4010	化学工業	石油化学	4610	保健医療	保健医療一般	7010
	中小工業	4020		化学肥料	4620		人口・家族計画	7020
	工業試験・研究	4040		窯業	4630		その他	7090
	その他	4090		その他	4690	その他	行財政	9010
軽工業	食品工業	4210	鉱業	鉱業一般	5010		統計	9013
	繊維工業	4220		金属資源開発	5020		情報	9016
	紙・パルプ工業	4230		石炭開発	5030		商業貿易	9020
	その他	4290		鉱山保安	5040		観光	9030
重工業	機械工業	4410	エネルギー	その他	5090		教育文化	9040
	鉄鋼業	4420		エネルギー一般	6010		労働	9050
	非鉄金属工業	4430		電力	6020		その他	9090
	金属加工	4440		ガス	6030			
	その他	4490		原子力	6040			
				その他	6090			

<5桁目>

コード	種 類	摘 要
1	技 術 開 発	フィージビリティ調査(F/S)のうち、一部分の技術調査をいう。例えば、発電所建設計画、F/Sのうち石炭火力発電所の技術的検討
2	基 本 設 計 調 査	建物、施設の計画・立案・技術的検討等基本設計作成段階の調査
3	フィージビリティ調査	開発計画のマスタープラン策定及びその他の大分類の区分に属するプロジェクトのフィージビリティ調査
4	実 施 設 計 調 査	プロジェクトの施工に直接必要な詳細設計、工費精算、仕様書及び入札関係書類等の作成調査
5	施 行 監 理	プロジェクトの施工監理及び検査
6	操 業 指 導	プロジェクトの操業指導
7	経 営 指 導	プロジェクトの経営指導

5. 身分(出身区分)コード

身 分	コード
国家公務員	1
地方公務員	2
特殊法人(JICAを除く)	3
民 間	4
自 営	5
JICA特別委託	6
JICA役職員	7
無 職	9

6. 号(団員の格付)コード

号	コード
特 号	0
1 号	1
2 号	2
3 号	3
4 号	4
5 号	5
6 号	6

7. 費用出所コード

費 用 出 所	コード
事業団予算(通産委託分を含む)	1
外務省(本省)予算	2
農林水産省予算	3
通産省(本省)予算	4
その他省庁予算	7
そ の 他	9

8. 調査種類(調査段階区分)コード

開 発 調 査	コード	プロジェクト方式技術協力	コード	開 発 協 力	コード
研究・基礎調査	110	研究・基礎調査	210	基礎一次調査団	310
選定・確認調査	120	選定・確認調査	220	基礎二次調査団	320
事前調査	140	事前調査	240	開発計画調査団	330
本格調査		本 調 査		計画打合せ調査団	340
現地調査	151	実施協議調査	251	現地作業監理	350
現地作業監理	153	巡回指導	253	関連施設整備調査団	370
報告書説明	155	計画打合せ	255	投融資審査等調査団	380
アフタ・ケア調査	170	効果検証	257		
		機材管理指導	258		
		事後状況調査	270		

9. 事項コード

開 発 調 査 費		技術協力センター費		保健医療協力費		人口家族計画協力費		農 林 業 協 力 費	
01	事前調査	01	事前調査	01	事前調査	01	巡回指導	01	事前調査
02	実施調査	02	実施協議	02	実施協議	06	エバリュエーション	02	実施協議
03	長期調査	04	巡回指導	03	実施設計			03	実施設計
04	アフターケア調査	05	計画打合せ	04	巡回指導			04	巡回指導
05	地形図作成調査	06	エバリュエーション	05	計画打合せ			05	計画打合せ
06	林業資源調査	07	機材修理	06	エバリュエーション			06	エバリュエーション
07	水産資源調査	10	アフターケア	07	機材修理			07	機材維持管理
10	実施設計調査			08	基礎調査			08	基礎調査
20	特別案件調査								
30	地下水開発調査								
40	大規模開発 プロジェクト調査								
50	特定地域技術協力調査								
60	プロジェクト研究								

開 発 協 力 費		産業開発協力費		海外開発計画調査費		資源開発基礎調査費	
	試験的事業関連	01	事前調査	01	技術調査	01	資源開発調査
01	基礎一次調査	02	実施協議	02	プロジェクト選定確認	02	地域開発計画調査
02	基礎二次調査	01	巡回指導	03	技術調査団長期派遣	03	プロジェクト選定調査
03	開発計画調査	05	計画打合せ	04	大規模開発協力基礎調査	04	フォローアップ調査
04	計画打合せ	06	エバリュエーション	05	フォローアップ調査	05	事前・協定折衝
05	作業監視			06	大型工業技術協力調査		
	関連インフラ						
11	社会開発						
12	鉄工業						
20	投融資審査等調査						

